

大雨対策に関するアンケート 調査結果

令和2年3月

安城市建設部土木課

目 次

1	大雨対策に関するアンケート調査結果と考察	1-1
1.1	アンケート調査の概要	1-1
1.2	回答者の属性【問 1】～【問 4】	1-2
1.3	水害に対する防災の意識【問 5】【問 6】	1-8
1.4	防災情報の提供に関する要望【問 7】	1-12
1.5	雨水貯留浸透施設の設置に関する意向（持ち家の方のみ）【問 8】～【問 11】	1-14
1.6	今後の大雨対策に関する意向【問 12】	1-23
1.7	大雨対策に関する意見、要望【問 13】	1-26
2	参考資料（自由回答の詳細）	2-1
2.1	防災情報の提供に関する要望【問 7】	2-1
2.2	大雨対策に関する意見、要望【問 13】	2-7

1 大雨対策に関するアンケート調査結果と考察

1.1 アンケート調査の概要

「第2次安城市雨水マスタープラン」の施策に市民の意向を反映させることを目的として、平成31年4月1日現在で18歳以上の市民の中から2,000人^{※1}の方を無作為に抽出し、大雨対策に関するアンケートを実施した。

①調査地域	安城市全域
②調査対象	2,000人 ^{※1} （平成31年4月1日現在で18歳以上の市民から無作為抽出）
③調査主体	安城市建設部土木課河川係
④調査方法	配布：行政連絡員による配布 回収：郵送法
⑤調査期間	令和元年10月3日～10月21日
⑥回収数	910票 ^{※2}
⑦回収率	45.7%（=910票÷1,990票）

※1：結果集計に関する留意事項

- ・対象者2,000人に発送したが、無作為抽出後に市外へ転出された等の理由により、10人が対象外となったため、調査対象者数を1,990人として集計している。

※2：必要サンプル数について

本アンケート調査の回収数の妥当性を検証するため、必要サンプル数を算定する。回収数 \geq 必要サンプル数となれば、アンケート調査結果の有効性が高いものと評価できる。

統計学上の必要サンプル数は、一般的に回答データのズレ（標本誤差）を5%、標本誤差が許容範囲内に収まる割合（信頼水準）を95%とし、以下の式より算出することができる。

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{1.96}\right)^2 \times (N-1) \times 4 + 1}$$

ここに、n：標本数

N：母集団 ※N=76,114世帯（安城市の世帯数、令和元年9月30日当時）

e：標本誤差 ※e=5%

よって、

$$n \geq \frac{76,114}{\left(\frac{0.05}{1.96}\right)^2 \times (76,114-1) \times 4 + 1}$$

$$n \geq 382.2 \approx 383$$

つまり、安城市民を対象としたアンケート調査における必要サンプル数は383サンプル以上であり、本アンケートの回収数が910票であることから、必要サンプル数を大きく上回る結果であることがわかる。

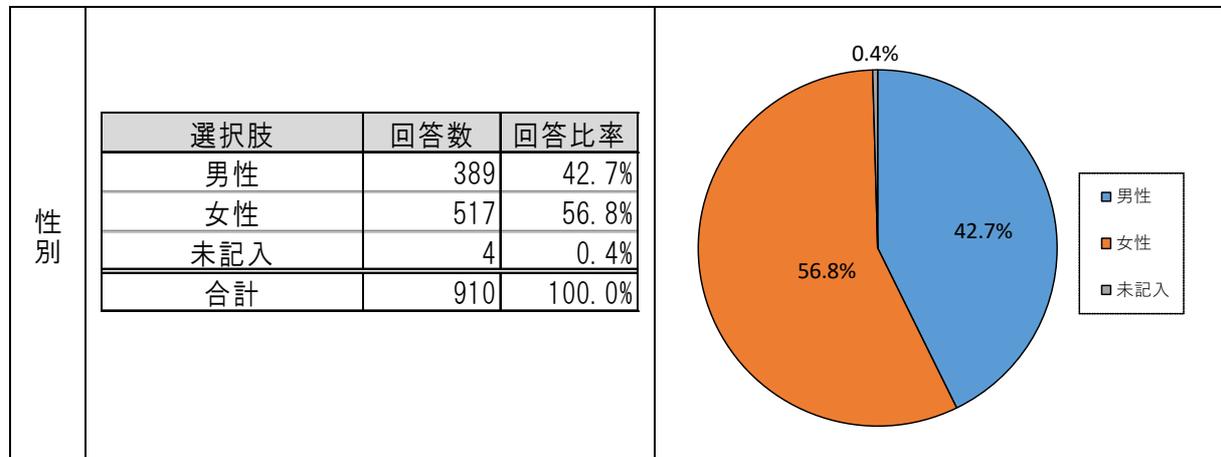
以上より、本アンケート調査結果の有効性は確保されているものと判断する。

1.2 回答者の属性【問1】～【問4】

【問1】～【問4】及び回答者の居住場所より、回答者の属性は以下のとおりであった。

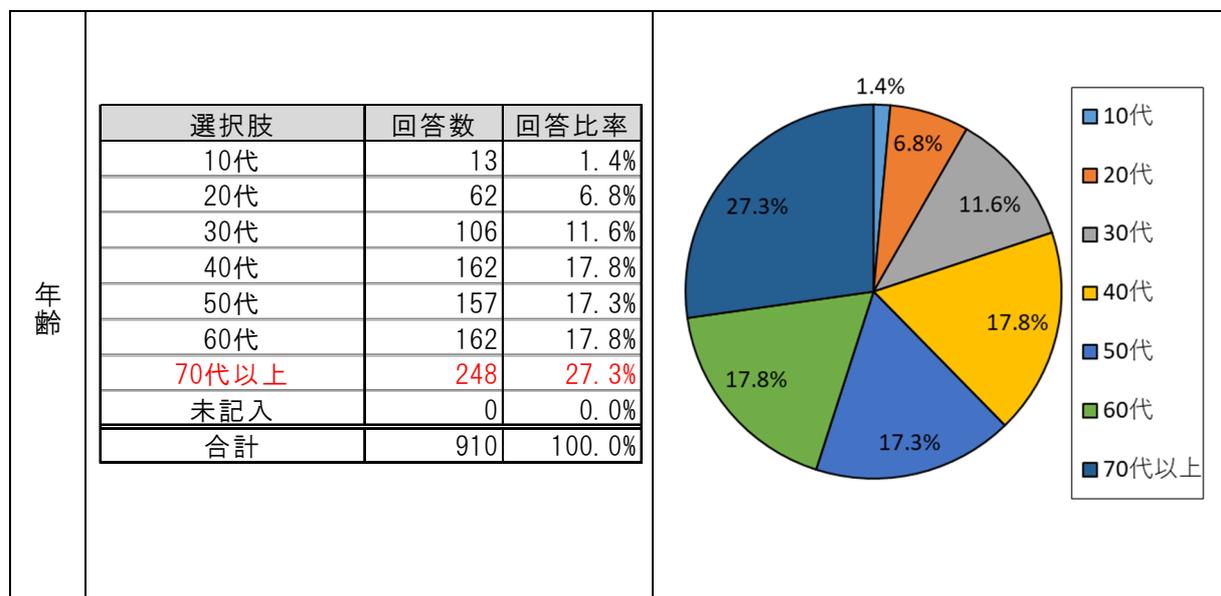
1) 性別【問1】

女性の回答比率が若干高い。



2) 年齢【問2】

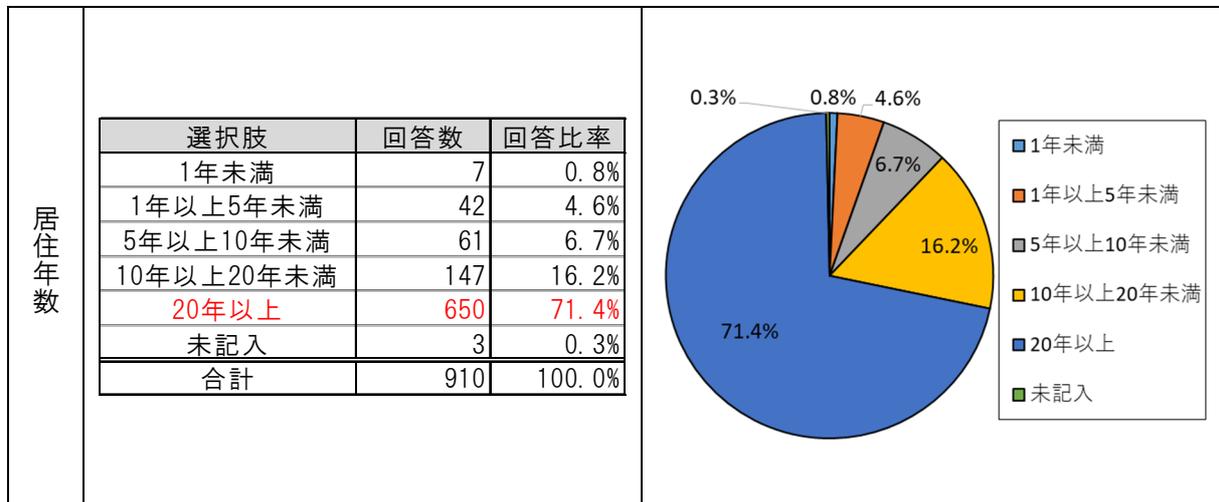
高い年代ほど回答比率が上昇する傾向にあり、70代以上の回答比率が最も高かった。回答比率にばらつきがあるものの、全世代から回答を得ることができた。



3) 居住年数【問3】

居住年数が長いほど回答比率が高く、20年以上の方が約7割を占めている。

東海豪雨（平成12年9月）及び平成20年8月末豪雨を経験した市民の回答比率が高い結果となった。



4) 浸水被害の経験【問4】

[設問]

過去に大雨による影響を受けたことがありますか？（複数回答可）
該当するすべての番号に○を付けてください。

[回答結果]

「影響を受けたことがない」と回答された方が最も多い。

被害を受けた方の中では、「道路が水に浸かって通行できなかった」、「電車が遅れて予定通り移動できなかった」という交通被害に関する割合が多い。

その他の意見では、屋根や倉庫の破損など建物における被害が大部分を占めた。

表 1.1 問4の回答数及び回答比率

選択肢	回答数	回答比率
床上まで浸水した	4	0.4%
床上までは浸水していないが家屋が水に浸かった	26	2.4%
駐車場や庭が浸水した	78	7.1%
道路が水に浸かって通行できなかった	171	15.7%
電車が遅れて予定通り移動できなかった	203	18.6%
水田・畑のあぜやのり面がくずれた	37	3.4%
農作物が水に浸かった	60	5.5%
仕入れ・物流がとまって事業に影響が生じた	16	1.5%
客足が減り売り上げが落ちた	17	1.6%
影響を受けたことがない	437	40.0%
その他	43	3.9%
合計	1,092	100.0%

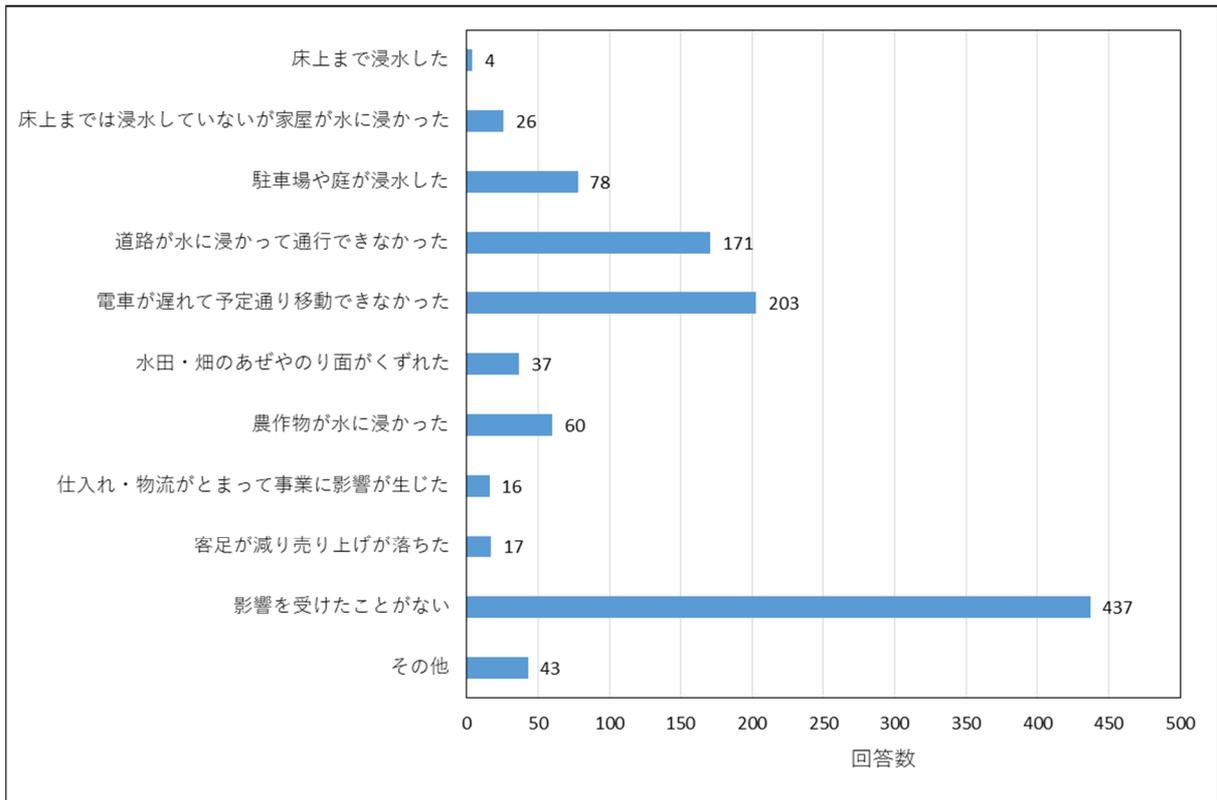


図 1.1 問 4 の回答数

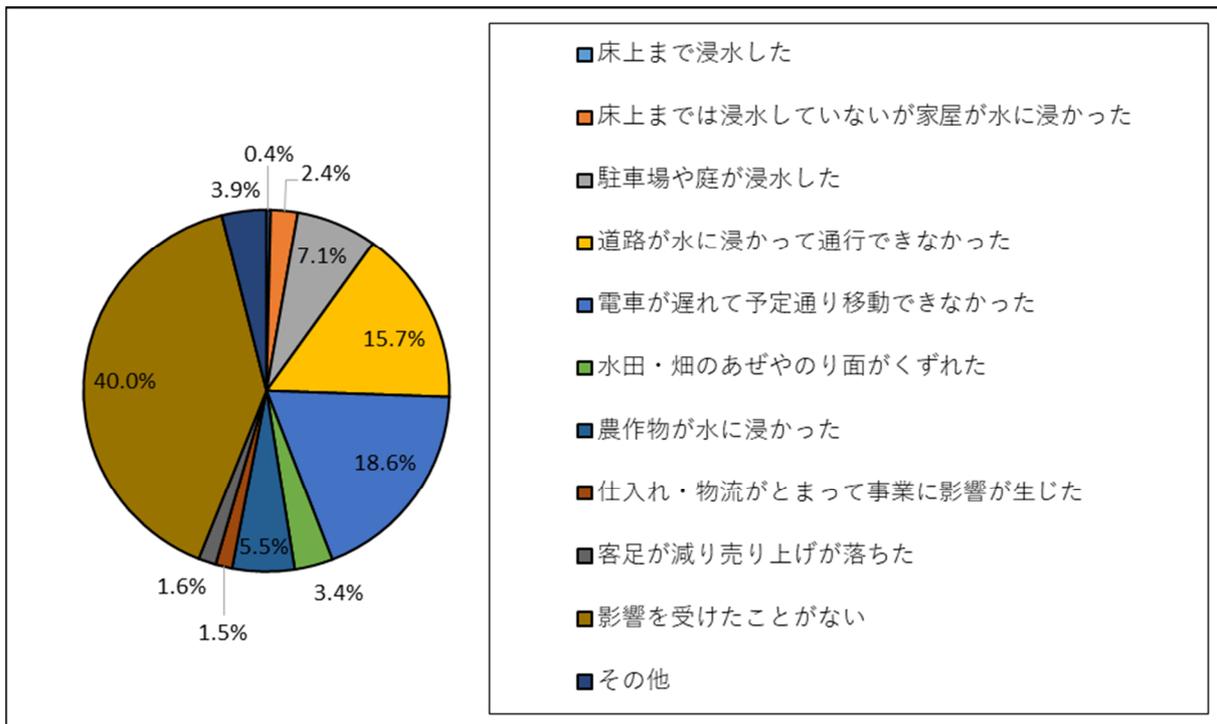
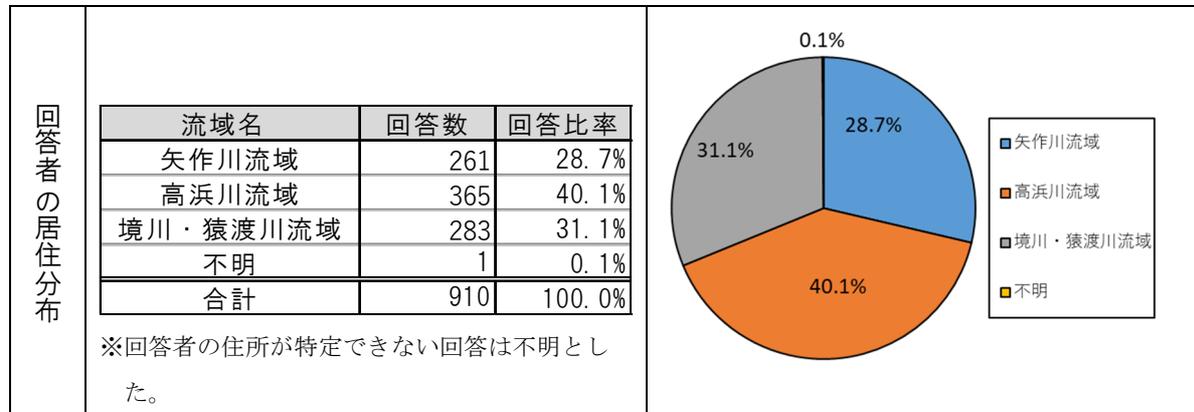


図 1.2 問 4 の回答比率

5) 回答者の居住分布

回答者の居住場所を流域単位で分類した結果、高浜川流域の回答比率が若干高いが、概ね各流域で同程度の回答を得ることができた。 図 1.3 に回答者の住居分布を示す。



また、流域ごとのアンケート回収率を整理した結果、矢作川流域の回収率が約6割と最も高かった。

表 1.2 流域ごとのアンケート回収率

流域名	配布数	回答数	回収率
矢作川流域	440	261	59.3%
高浜川流域	861	365	42.4%
境川・猿渡川流域	689	283	41.1%
不明	0	1	-
合計	1990	910	45.7%

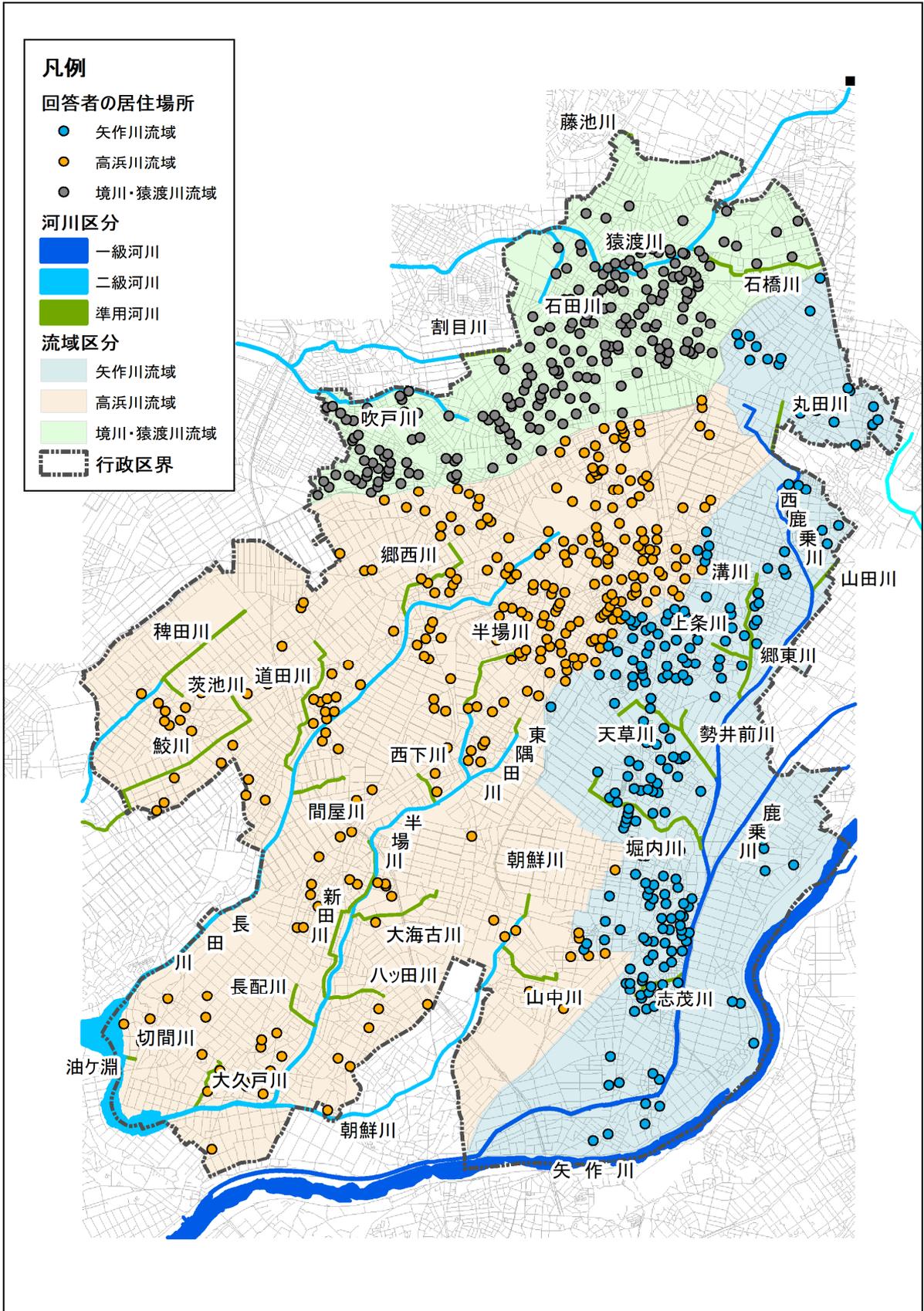


図 1.3 回答者の居住分布図

1.3 水害に対する防災の意識【問5】【問6】

1.3.1 洪水ハザードマップの活用状況【問5】

[設問]

安城市では、大雨の時に想定される浸水の範囲や深さ、避難所などを表示した洪水ハザードマップを平成24年3月に全戸配布し、現在は危機管理課や土木課の窓口で無料配布したり、市のホームページで公開していますが、洪水ハザードマップの活用状況を教えてください。
該当する番号に○を付けてください。

[回答結果]

「手元にあるが、活用していない」、「洪水ハザードマップの存在は知っているが、手元がない」、「洪水ハザードマップの存在を知らない」との回答が約8割を占めており、洪水ハザードマップの十分な活用が図られていない状況が伺える。

現行の安城市雨水マスタープランを策定する際に行った同様のアンケート調査（平成20年12月）と比較すると、洪水ハザードマップを活用している人の割合は、1割以上低下している（30.2%→18.6%）。これは、平成20年8月末豪雨以降、市内において甚大な浸水被害が発生していないため、洪水ハザードマップに対する市民の関心が低下しているものと考えられる。

特に年齢が若いほど洪水ハザードマップを活用していない人の割合が高く、20代に至っては洪水ハザードマップの存在すら知らない人が多かった。現在、ワークショップや出前講座で洪水ハザードマップを紹介しているが、対象者は申し込みのあった団体（日頃、時間に余裕のある高齢者等）に限定されているため、今後は洪水ハザードマップに触れる機会の少ない世代への周知が課題であると考えられる。

流域単位で見ると、洪水による著しい浸水が想定されている矢作川流域では、洪水ハザードマップを活用している人の割合が若干高かったが、それでも2割強に止まっている。洪水ハザードマップについては、来年度、想定最大規模の洪水浸水想定区域図等を基に改訂を予定しているが、改訂後には単に配布するだけでなく、浸水想定区域の住民に対して洪水ハザードマップの内容（どの程度の降雨量で、どの河川が氾濫し、どの程度の浸水が予想されるか、その時に使用できる避難所はどこか等）を確実に伝え、避難の判断材料として洪水ハザードマップの活用を促していく必要があると考えられる。

表 1.3 問5の回答数及び回答比率

選択肢	回答数	回答比率
避難行動に役立っている、役立てようとしている	169	18.6%
手元にあるが、活用していない	333	36.6%
洪水ハザードマップの存在は知っているが、手元がない	222	24.4%
洪水ハザードマップの存在を知らない	163	17.9%
未記入	23	2.5%
合計	910	100.0%

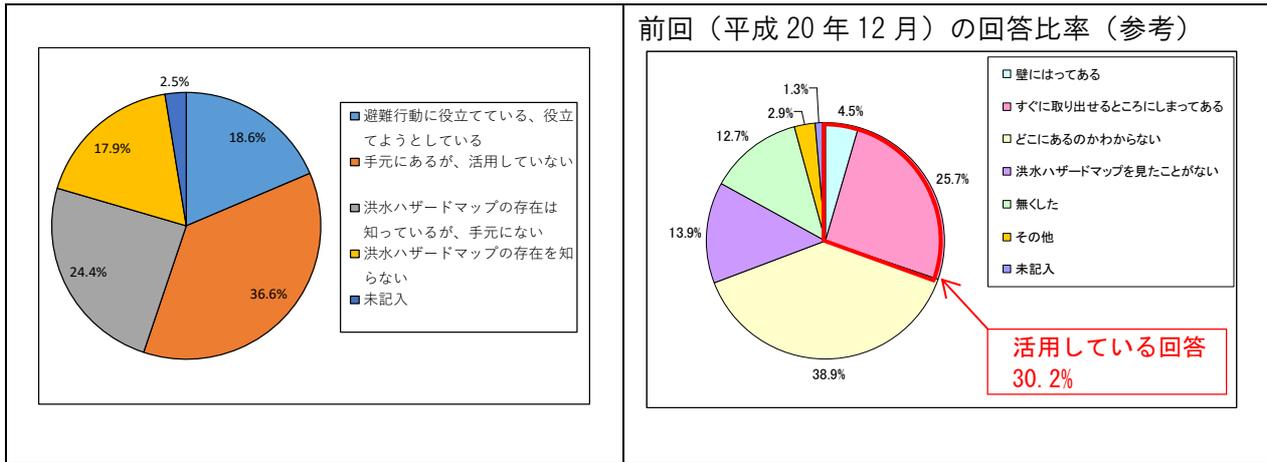


図 1.4 回答数の比率

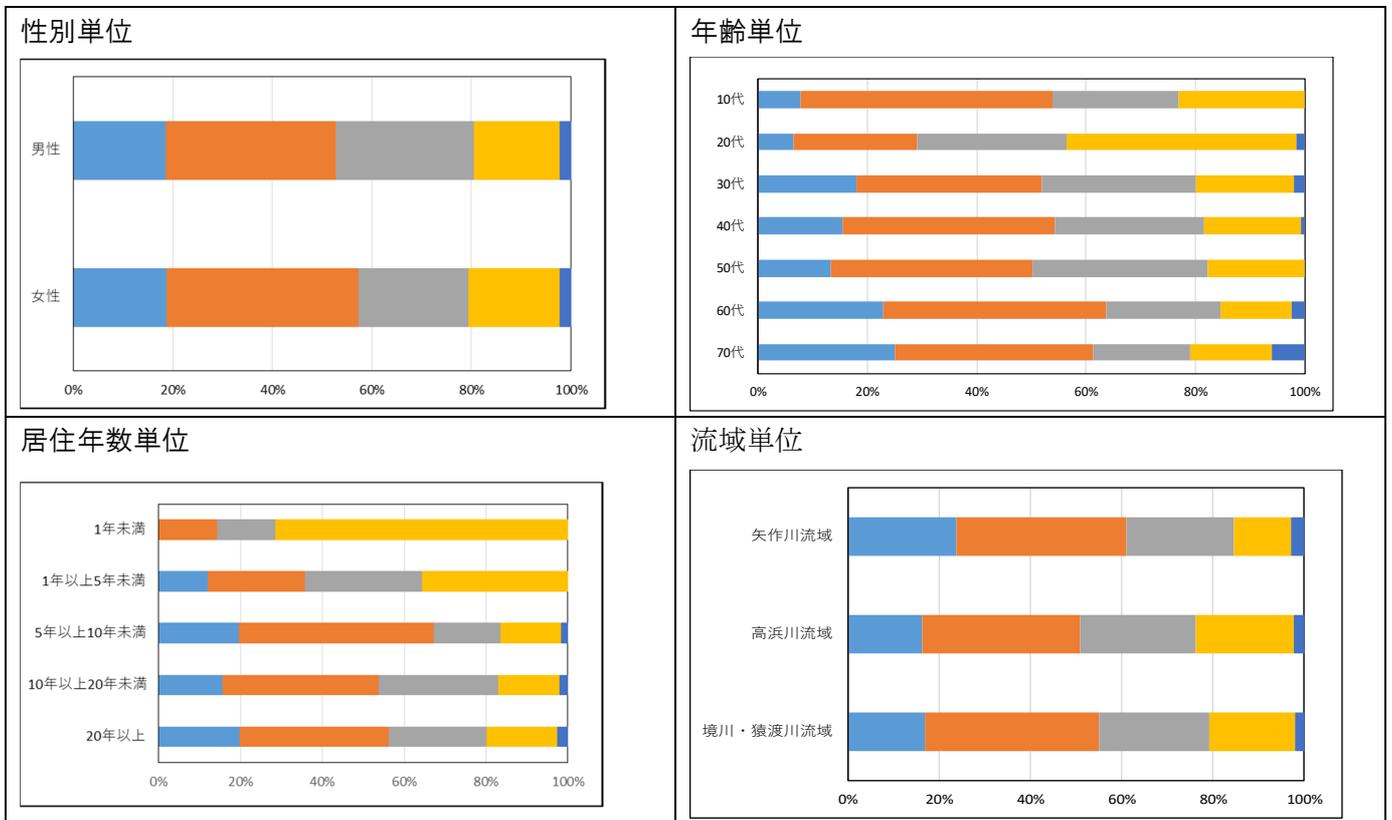


図 1.5 属性単位の回答比率

1.3.2 自助・共助・公助の重要性に関する意識【問6】

[設問]

防災対策には、自助（自分自身の命は自分で守る）、共助（地域コミュニティで助け合う）、公助（役所など公的機関が守る）という考え方があります。防災対策ではどれが一番大事だと思いますか？

該当する番号に○を付けてください。

[回答結果]

「バランスが取れた対策」、「自助に重点を置いた対策」の回答比率が比較的高いことから、市民の防災対策への取り組み意欲は高いものと考えられる。特に年齢が高いほど自助の意識が高く、70代の約半数は自助・共助の意識を高く持たれている。

表 1.4 問6の回答数及び回答比率

選択肢	回答数	回答比率
自助に重点を置いた対策	261	28.7%
共助に重点を置いた対策	106	11.6%
公助に重点を置いた対策	57	6.3%
バランスが取れた対策	410	45.1%
知らない、わからない	27	3.0%
未記入	49	5.4%
合計	910	100.0%

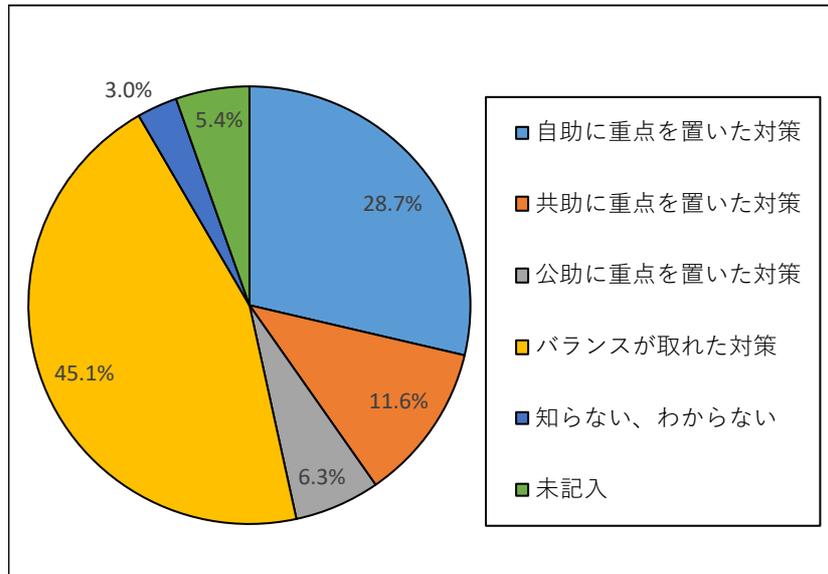


図 1.6 回答数の比率

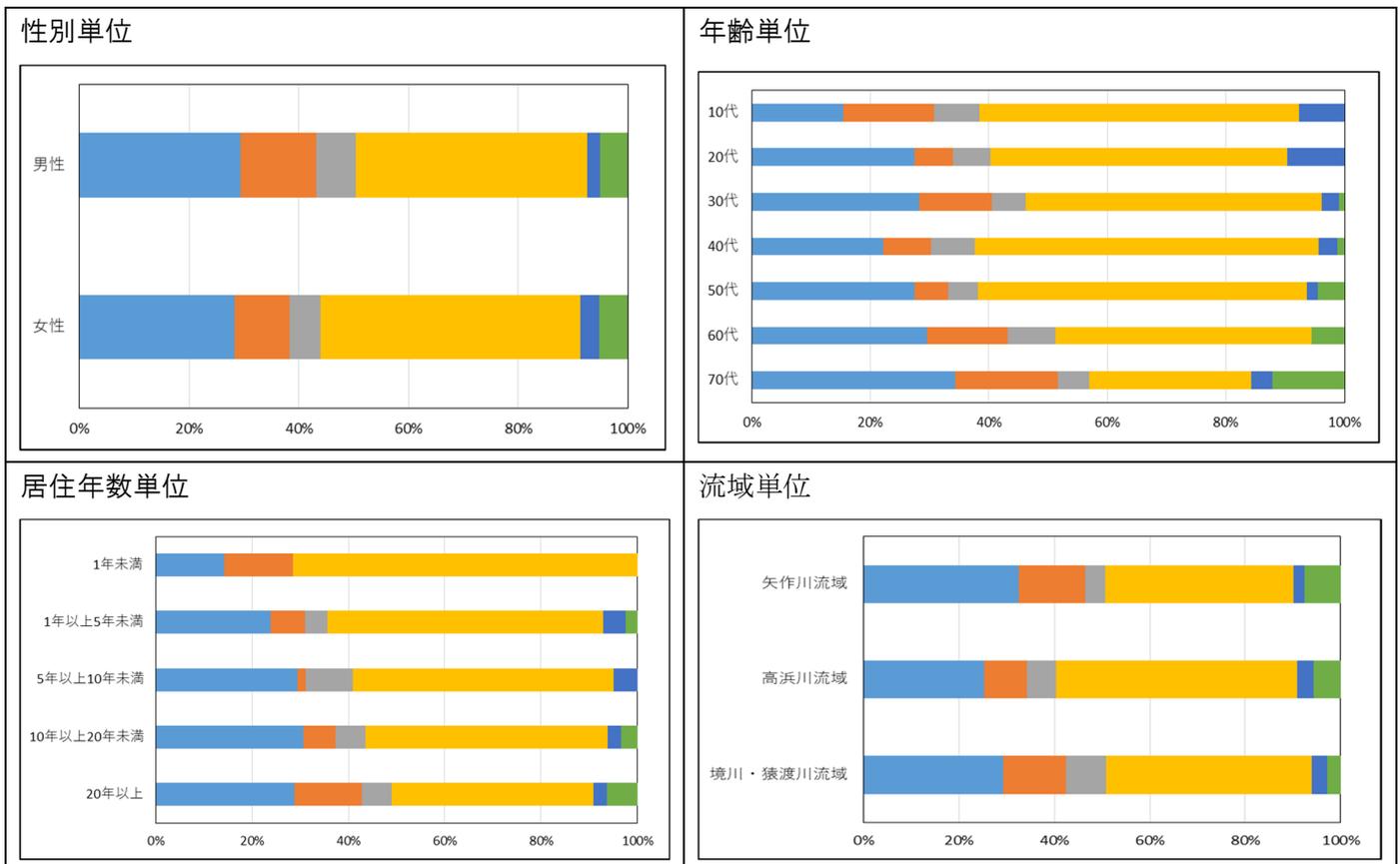


図 1.7 属性単位の回答比率

1.4 防災情報の提供に関する要望【問7】

[設問]

現在、安城市では、河川水位観測システムを運用しており、市民の方が市内の降雨量、河川水位、道路冠水の情報を確認することができます。これ以外に提供してほしい防災情報があればご自由にお書きください。

要望のあった防災情報の提供状況と今後の対応を表 1.5 に示す。

表 1.5 要望のあった防災情報の提供状況と今後の対応

No	項目	件数	提供状況	今後の対応
1	アンダーパス等の道路冠水や通行止め	21	<ul style="list-style-type: none"> 大雨時に冠水の恐れがある道路(5箇所)の冠水状況を提供 アンダーパス(4箇所)でも冠水状況を観測しているが、未提供 災害時の通行止めは、市のHP(緊急災害情報)等で発信 	<ul style="list-style-type: none"> アンダーパスの冠水状況の提供を検討 情報の入手先を周知 大雨時に車での移動は極力控えるよう啓発
2	今後の予想降雨量、市外の降雨量等	11	<ul style="list-style-type: none"> 気象庁のHP等で発信 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の入手先を周知
3	避難所の開設、混雑状況等	9	<ul style="list-style-type: none"> 市のHP(緊急災害情報)等で発信 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の入手先を周知
4	地域の浸水予想	8	<ul style="list-style-type: none"> 洪水ハザードマップを公表 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水ハザードマップの内容(どの程度の降雨量で、どの河川が氾濫し、どの程度の浸水が予想されるか)を周知
5	河川水位(長田川、猿渡川等の水位)	5	<ul style="list-style-type: none"> 長田川は、水位計なし(未提供) 猿渡川、西鹿乗川、半場川は、河川情報センターのHPで危機管理型水位計による水位情報を提供 矢作川の水位情報は、国のHP(川の防災情報)で提供 	<ul style="list-style-type: none"> 長田川は、今後、県が公表予定の浸水予想図を踏まえ、水位計の設置(県への要望)を検討 猿渡川等の水位情報は、入手先の周知と併せて、河川水位観測システムへの取込みを検討
6	カメラ映像	5	<ul style="list-style-type: none"> 家屋浸水への影響が特に大きい箇所や道路冠水が頻発する箇所のカメラ映像を提供 国のHP(川の防災情報)で矢作川のカメラ映像を提供 	<ul style="list-style-type: none"> カメラの増設は、プライバシーの問題や費用対効果を考慮し、慎重に検討
7	公共交通機関の運行状況	4	<ul style="list-style-type: none"> 各社のHP等で発信 災害時の交通情報は、帰宅困難者対策として市からも周知 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の入手先を周知
8	避難の目安となる水位	2	<ul style="list-style-type: none"> 矢作川は、避難判断水位が設定され、洪水ハザードマップに記載 鹿乗川は、氾濫危険水位等は設定されているが、避難判断水位は未設定 市が観測している河川等についても危険水位等は設定しているが、避難の目安となる水位は未公表 	<ul style="list-style-type: none"> 矢作川の避難判断水位を周知 矢作川以外の河川は、避難判断水位(避難の目安となる水位)を検討し、水位情報を避難に活用する体制を構築

また、防災情報の伝達手段についても要望があり、以下のとおり課題を整理した。

- 10～40 代の方から、「緊急性の高い情報は、自ら入手するのではなく、強制的に通知してほしい」との要望が多かった。避難に係る緊急情報は、市の HP（緊急災害情報）にアクセスすることで入手できるが、エリアメール、登録制の安全安心情報メールや Yahoo 防災速報による強制的な情報提供も行っているため、このようなサービスを周知していく必要があると考えられる。
- 60 代以上の方は、PC やスマホを持っていない、使いこなせない等の理由により、河川水位観測システムにアクセスすることが困難であり、自助の意識は高いものの、入手できる情報量が限られている現状が浮き彫りとなった。このような方々には、防災ラジオ等を活用して必要最小限の緊急情報を入手していただくとともに、豊富な情報を入手することができる世代と協力しながら、地域全体で対応すること（共助）が重要であると考えられる。

1.5 雨水貯留浸透施設の設置に関する意向（持ち家の方のみ）【問 8】～【問 11】

1.5.1 補助制度の認知度【問 8】

[設問]

安城市では、雨水を貯め込む「雨水貯留槽」や雨水を地中にしみ込ませる「浸透マス」などを設置される方に補助金をお支払いしています。ご存知でしたか？

該当する番号に○を付けてください。

[回答結果]

補助金の制度、雨水貯留槽や浸透マスの存在について「知らなかった」回答者が約7割を占める。特に居住年数が短いほど認知度が低いことから、近年のPR不足が認知度の低下を招いているものと考えられる。雨水貯留槽や浸透マスを設置するタイミングとしては、新築時が理想であるため、市民に直接PRすることも然ることながら、建築業者（ハウスメーカー）へのPRも強化し、市民・事業者・行政が一体となって雨水貯留槽等の設置を推進していくことが有効であると考えられる。

表 1.6 問 8 の回答数及び回答比率

選択肢	回答数	回答比率
補助金の制度を知っていた	188	25.5%
補助金の制度を知らなかった	229	31.0%
そもそも「雨水貯留槽」や「浸透マス」の存在を知らなかった	317	43.0%
未記入	4	0.5%
合計	738	100.0%

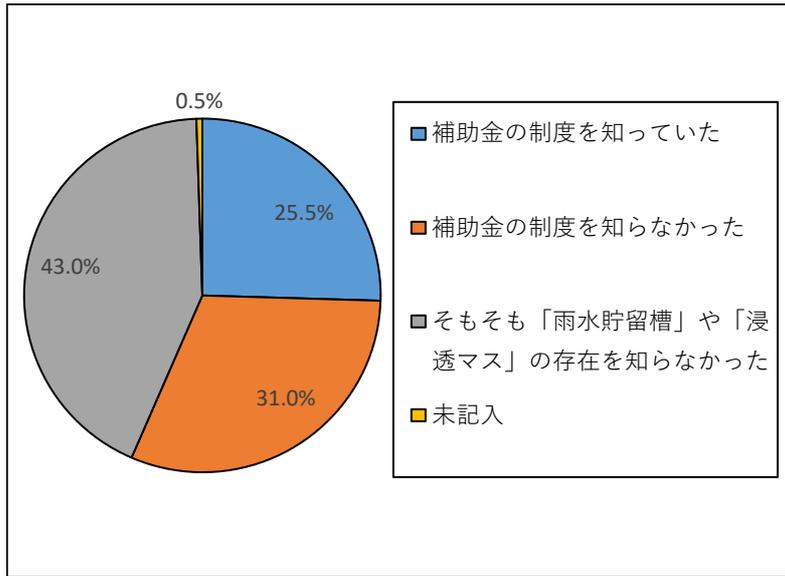


図 1.8 回答数の比率

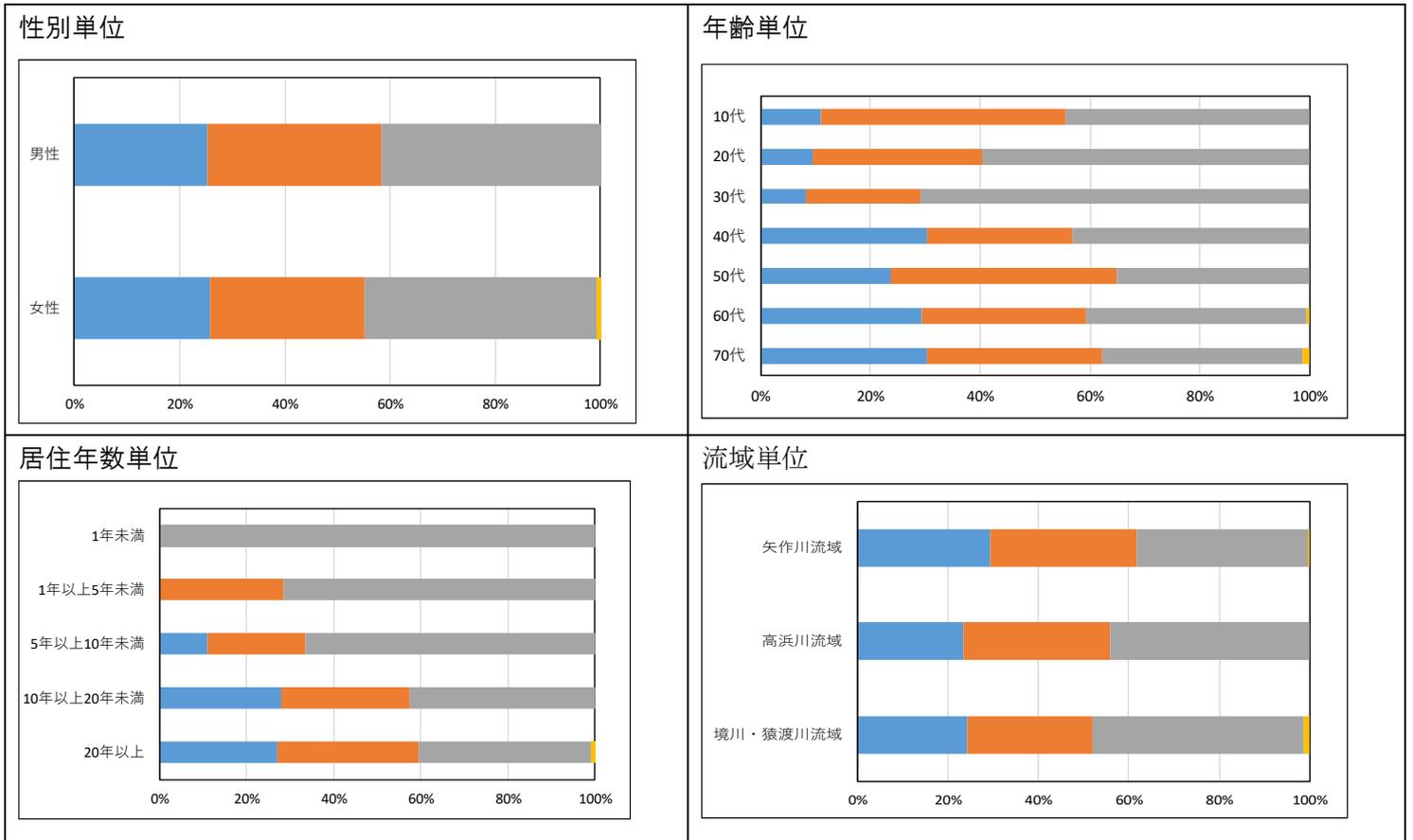


図 1.9 属性単位の回答比率

1.5.2 雨水貯留槽の設置に関する意向【問9】

【設問】

「雨水貯留槽」で貯めた雨水は、庭のまき水などに利用でき、洪水の抑制や水資源の有効利用にもつながります。「雨水貯留槽」を設置する意向はありますか？
該当する番号に○を付けてください。

【回答結果】

「設置したい」「設置を検討したい」回答者が約4割を占める。回答比率で見れば「設置するつもりはない」が最も多いが、市内全域に置き換えて回答結果を見れば、設置を前向きに考えている市民は相当数存在しているものと考えられる。

表 1.7 問9の回答数及び回答比率

選択肢	回答数	回答比率
設置済み	34	4.6%
設置したい	40	5.4%
設置を検討したい	237	32.1%
設置するつもりはない	413	56.0%
未記入	14	1.9%
合計	738	100.0%

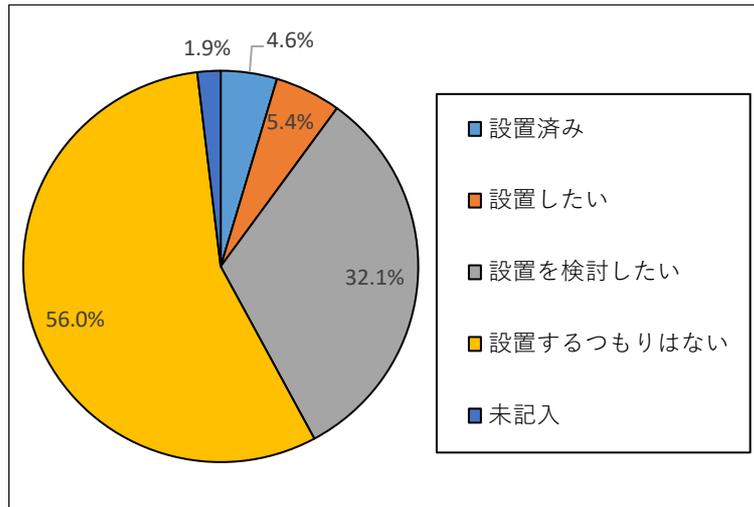


図 1.10 回答数の比率

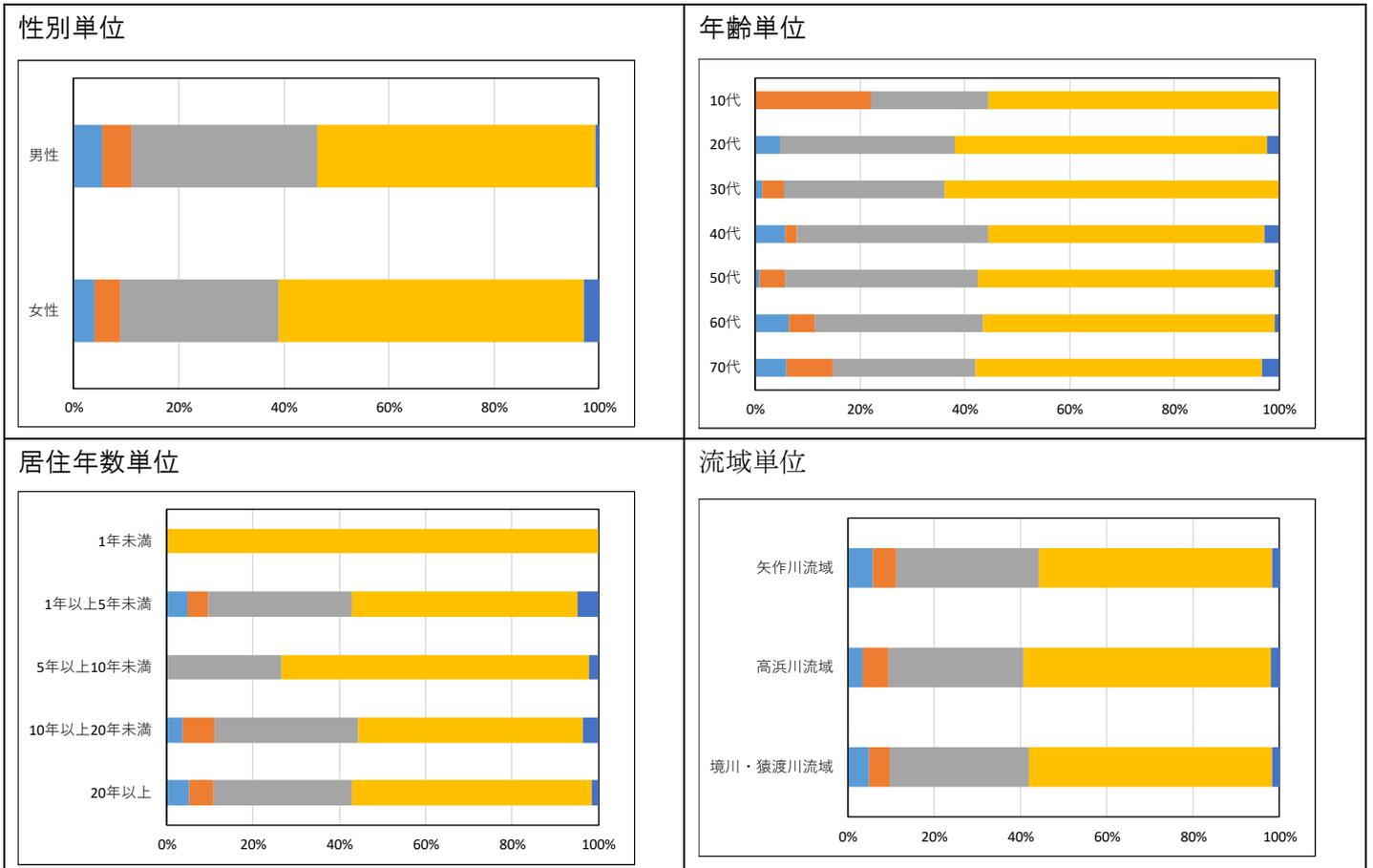


図 1.11 属性単位の回答比率

1.5.3 浸透マスの設置に関する意向【問 10】

[設問]

「浸透マス」は、雨水を地中にしみ込ませ、洪水の抑制や地下水の保全に効果があります。
「浸透マス」を設置する意向はありますか？
該当する番号に○を付けてください。

[回答結果]

「設置したい」「設置を検討したい」回答者が約3割を占める。浸透マスは、雨水貯留槽に比べて設置の意向がある回答者は少ないが、雨水貯留槽と同様、市内全域に置き換えて回答結果を見れば、相当の需要があるものと考えられる。

表 1.8 問 10 の回答数及び回答比率

選択肢	回答数	回答比率
設置済み	13	1.8%
設置したい	17	2.3%
設置を検討したい	183	24.8%
設置するつもりはない	505	68.4%
未記入	20	2.7%
合計	738	100.0%

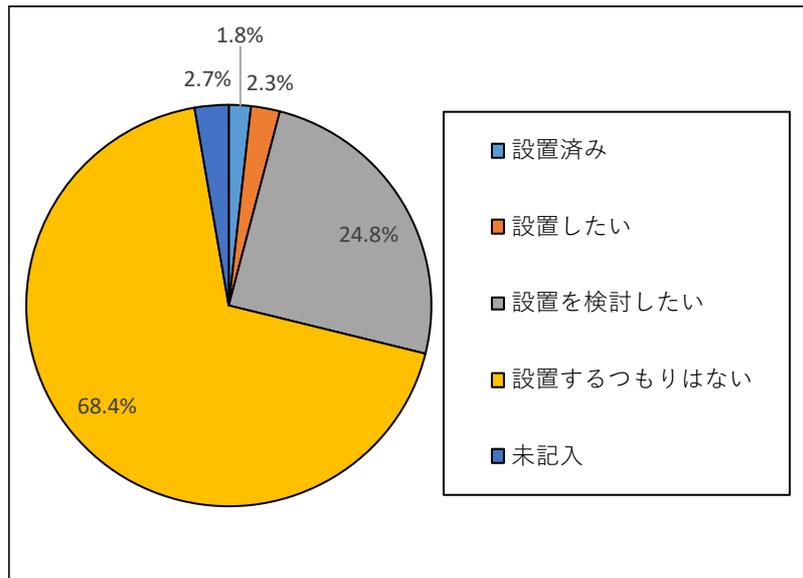


図 1.12 回答数の比率

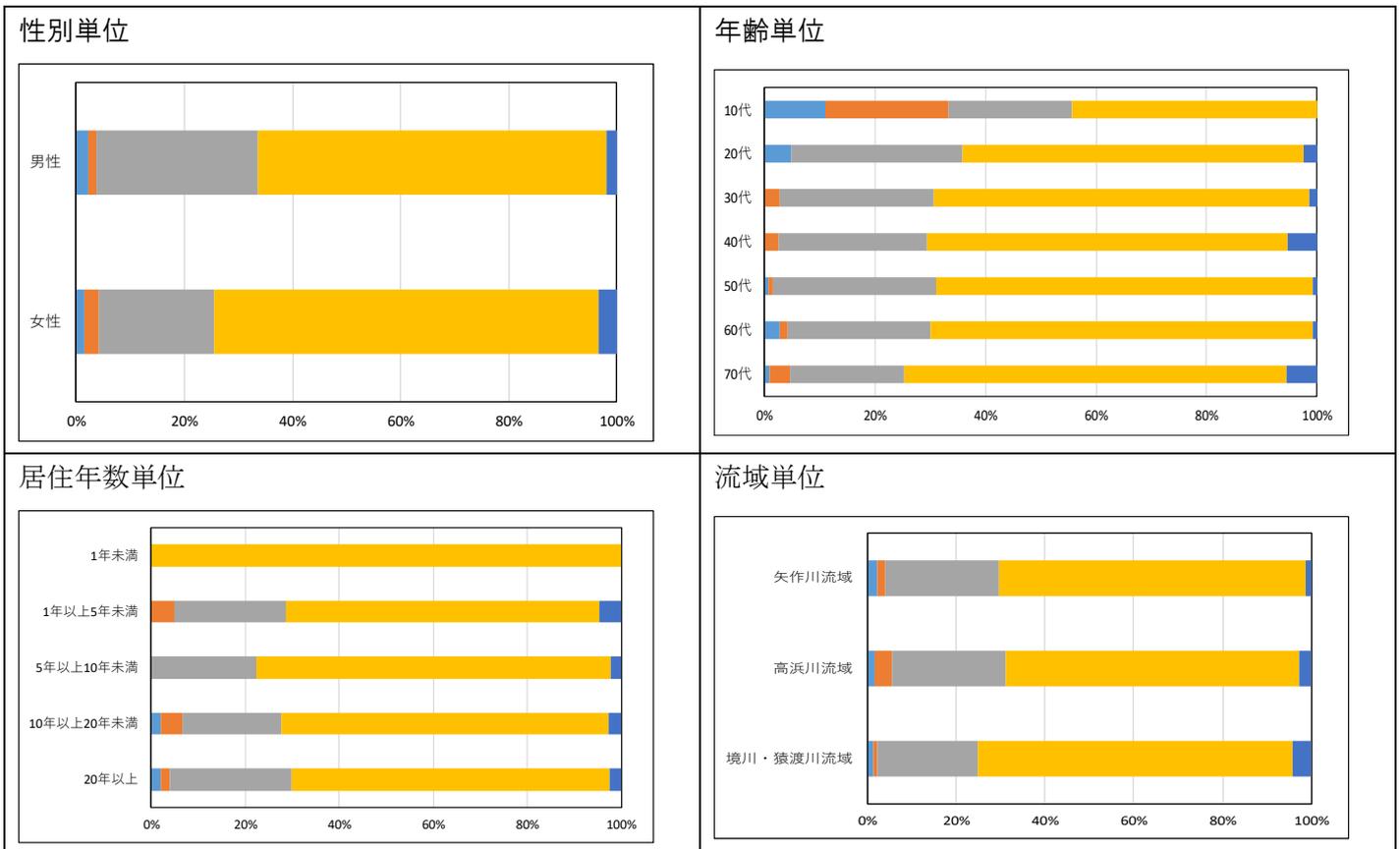


図 1.13 属性単位の回答比率

1.5.4 補助金額や手続きに関する意見【問11】

[設問]

「雨水貯留槽」や「浸透マス」などの設置に対する補助金の制度についてご意見をお聞かせください。

該当するすべての番号に○を付けてください。

[回答結果]

「手続きがわかりにくい」、「手続きが面倒」、「手続きが簡単ならば設置したい、設置を検討したい」という回答が最も多いため、手続き方法の分かりやすい説明や簡素化が必要であると考えられる。

また、「補助金額が少ない」、「補助金額が今よりも多ければ設置したい、設置を検討したい」という回答も比較的多く、補助金の増額も検討の余地があると考えられる。なお、その他の回答として、補助制度の内容、工事費の相場、施設の効果がよく分からないという意見があったため、これらの情報を周知していくことも重要であると考えられる。

表 1.9 問11の回答数及び回答比率

選択肢	回答数	回答比率
補助金額が少ない	70	7.6%
補助金額が今よりも多ければ設置したい、設置を検討したい	161	17.5%
手続きがわかりにくい	123	13.3%
手続きが面倒	101	11.0%
手続きが簡単ならば設置したい、設置を検討したい	180	19.5%
雨水タンクは2基までしか補助金をもらえないので3基目の設置が拒まれる	11	1.2%
補助金の制度を活用する意向はない	179	19.4%
その他	97	10.5%
合計	922	100.0%

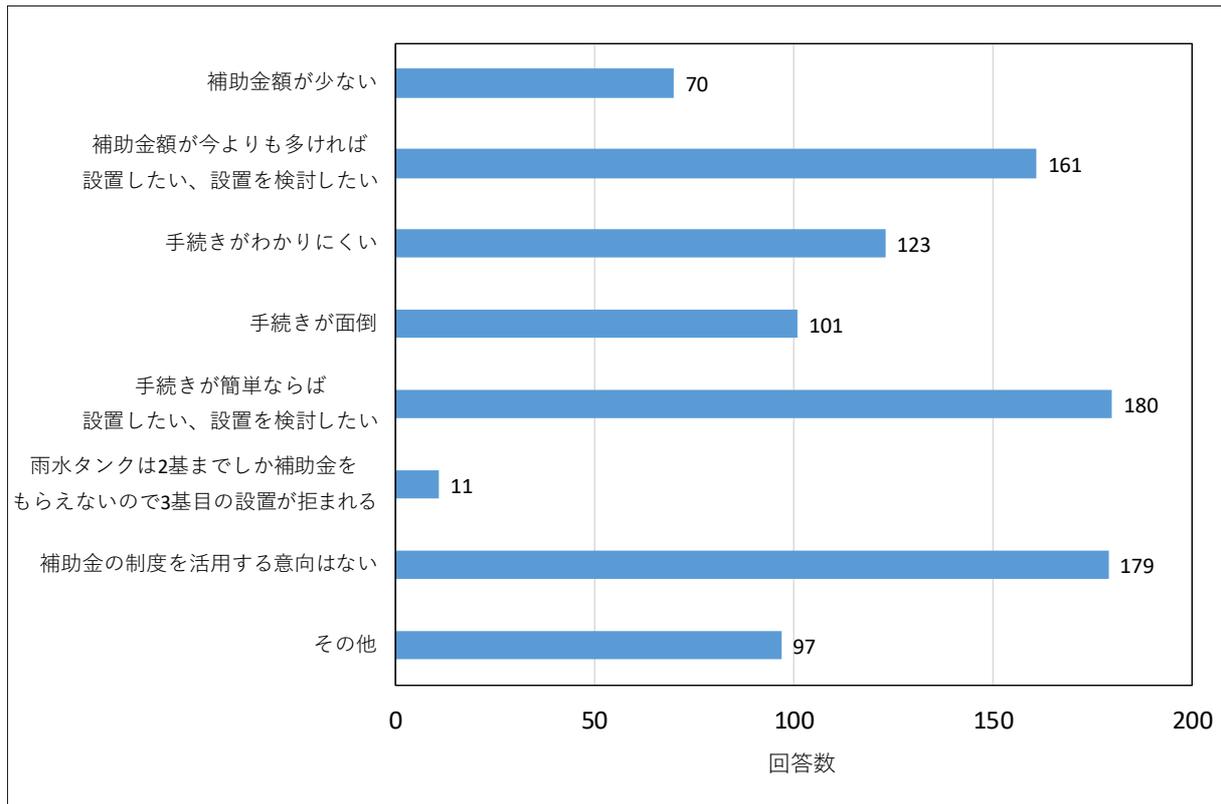


図 1.14 問 11 の回答数

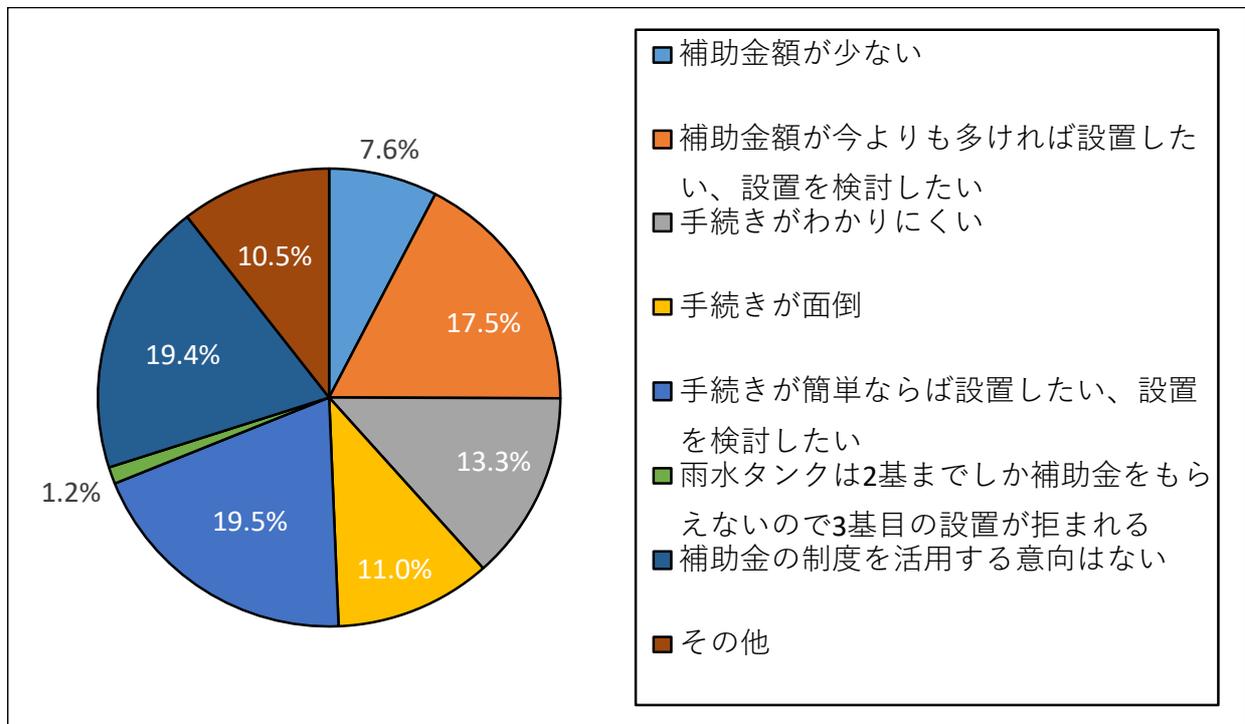


図 1.15 問 11 の回答比率

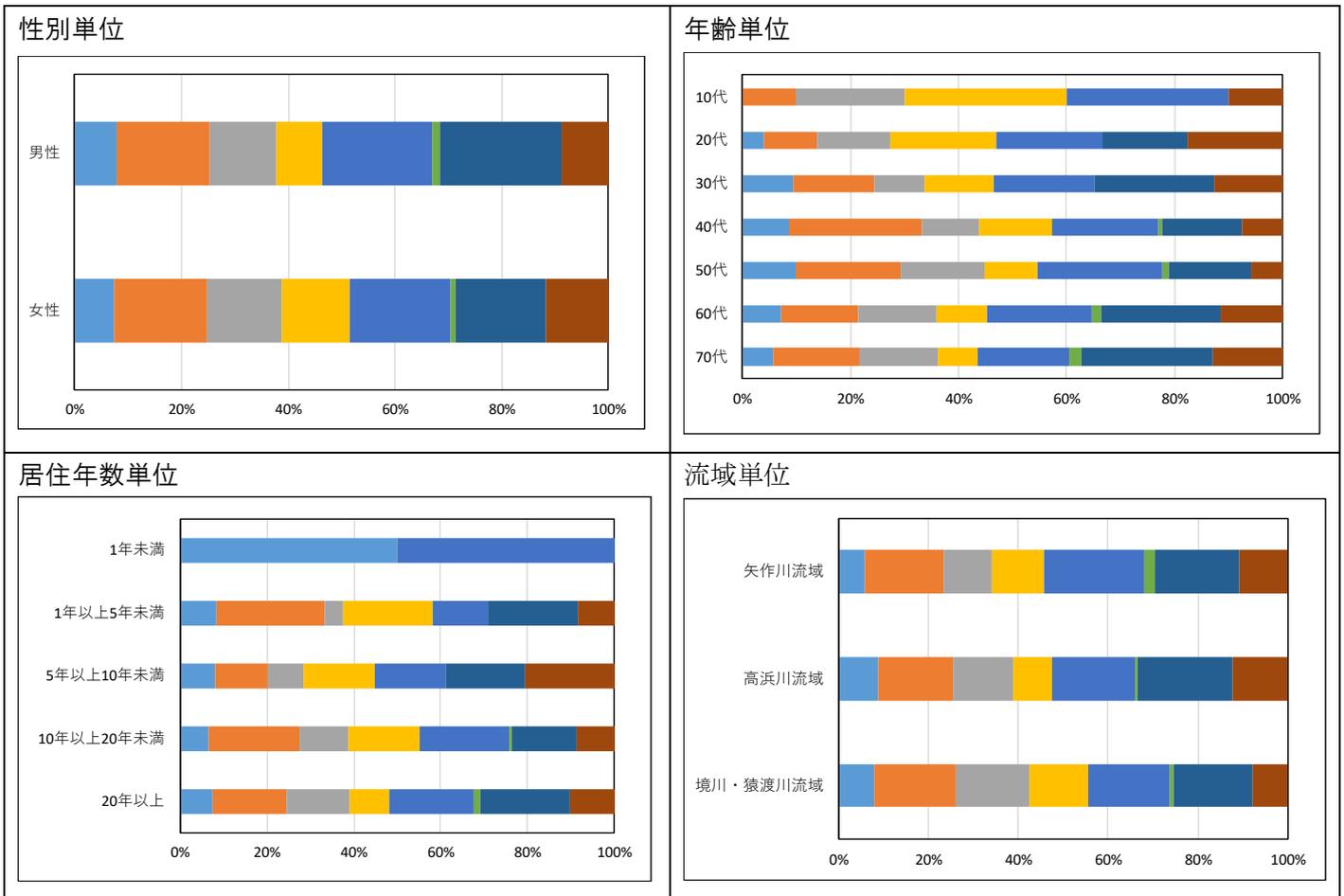


図 1.16 属性単位の回答比率

1.6 今後の大雨対策に関する意向【問 12】

[設問]

安城市では、これまで大雨対策として様々な施策を進めてまいりました。水害に強いまちづくりを目指して、特に今後も推進すべきと考えられる施策をお答えください。
該当する番号に5つ〇を付けてください。

[回答結果]

属性ごとに大きな差異は見られず、何れも「河川・排水路の整備」、「河川・排水路の維持管理」、「行政による雨水調整池の整備」といったハード対策の回答比率が高かった。一方で「行政が市民に向けて発信する防災情報の伝達手段の整備」、「防災情報の充実」といったソフト対策や、施策の進捗状況等を踏まえ重点的に検討しようと考えていた「緑地や農地（雨水が浸み込む土地）の保全や市街地における新たな緑化」、「雨水浸透施設の整備」、「水田が元来有する雨水を貯める機能を活かした水田貯留」を推進すべきと考える市民が多いことから、第2次安城市雨水マスタープランにおける施策の検討方針が市民の意向と合致しているものと考えられる。

表 1.10 問 12 の回答数及び回答比率

選択肢	回答数	回答比率
河川・排水路の整備	632	15.8%
河川・排水路の維持管理	605	15.1%
雨水浸透施設の整備	332	8.3%
緑地や農地（雨水が浸み込む土地）の保全や市街地における新たな緑化の推進	359	9.0%
行政による雨水調整池の整備	448	11.2%
民間事業者による雨水貯留施設の設置	92	2.3%
水田が元来有する雨水を貯める機能を活かした水田貯留の推進	269	6.7%
市民による雨水貯留槽の設置	96	2.4%
行政が市民に向けて発信する防災情報の伝達手段の整備	428	10.7%
防災情報の充実	447	11.1%
防災イベントの開催	106	2.6%
自主防災組織の強化	196	4.9%
合計	4,010	100.0%

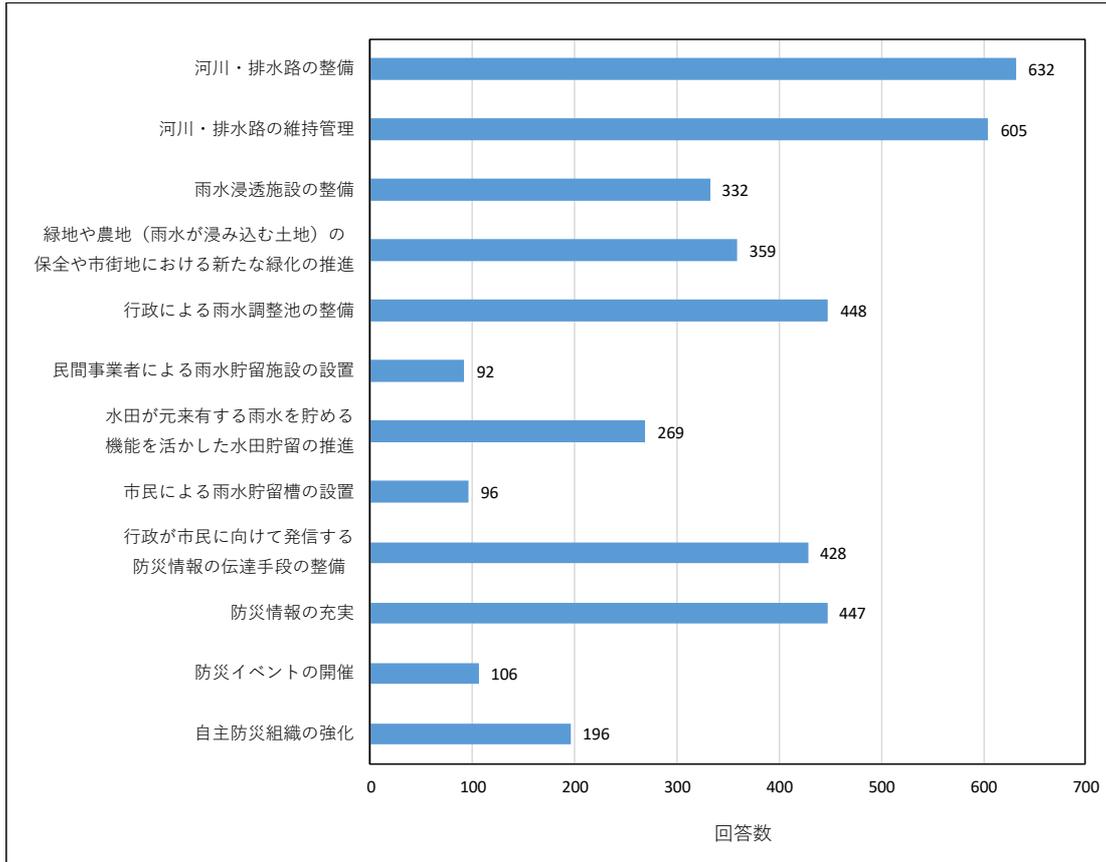


図 1.17 問 12 の回答数

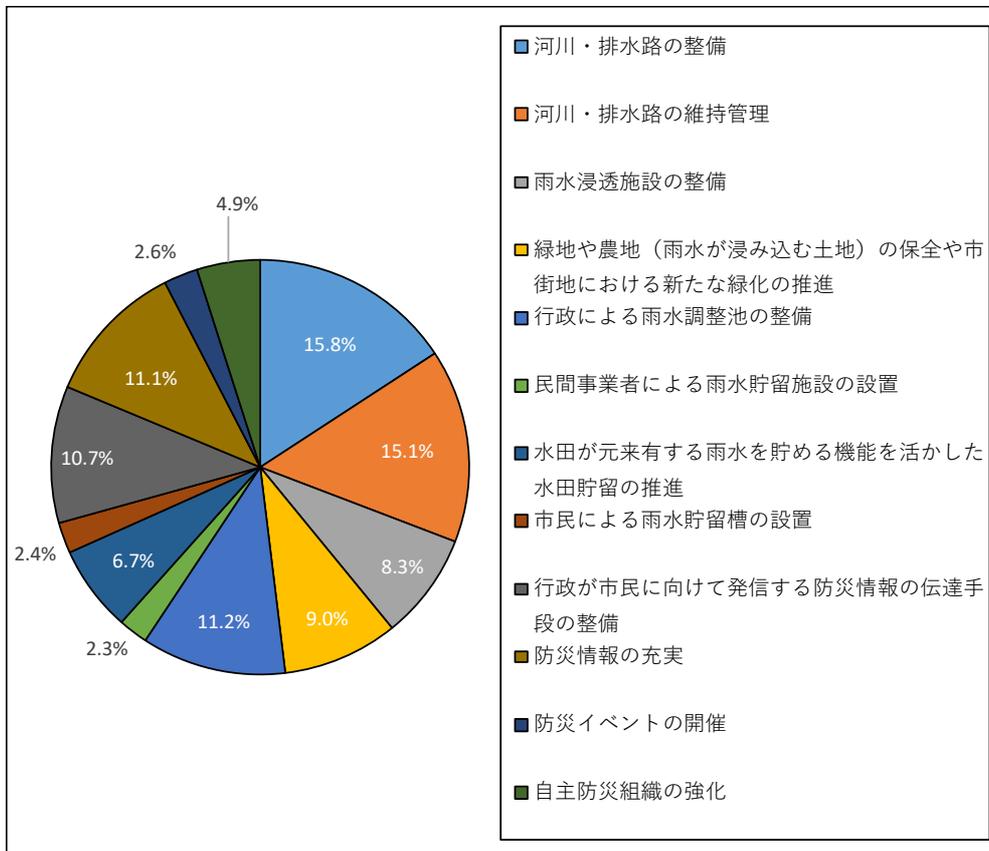
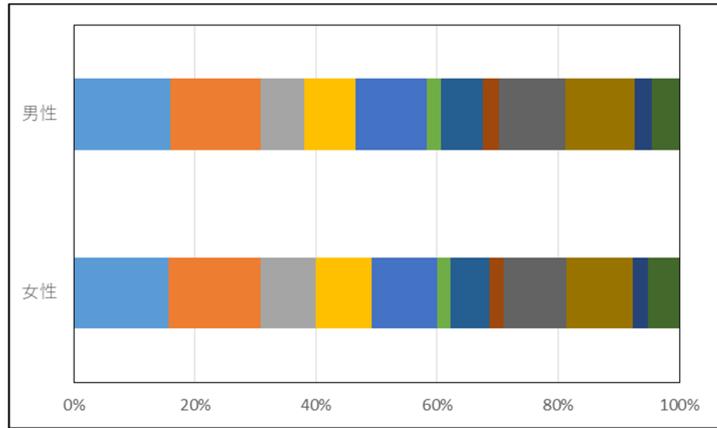
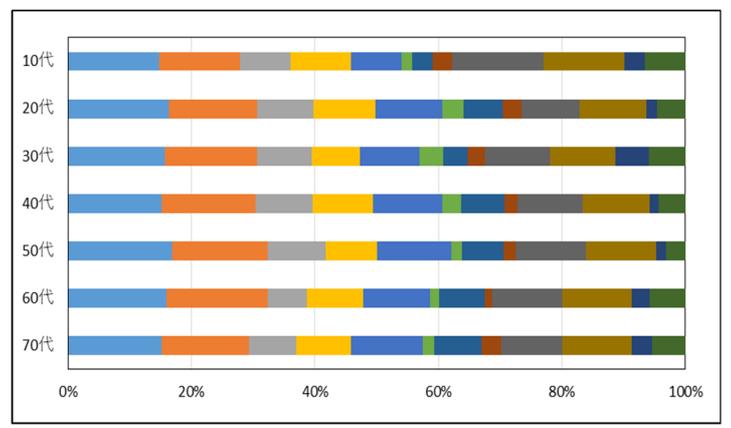


図 1.18 問 12 の回答比率

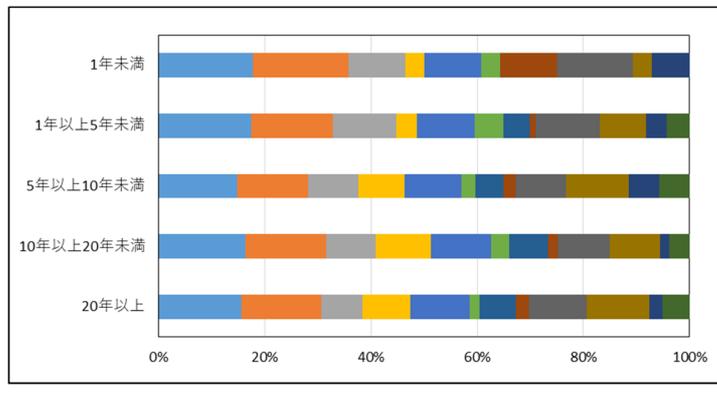
性別単位



年齢単位



居住年数単位



流域単位

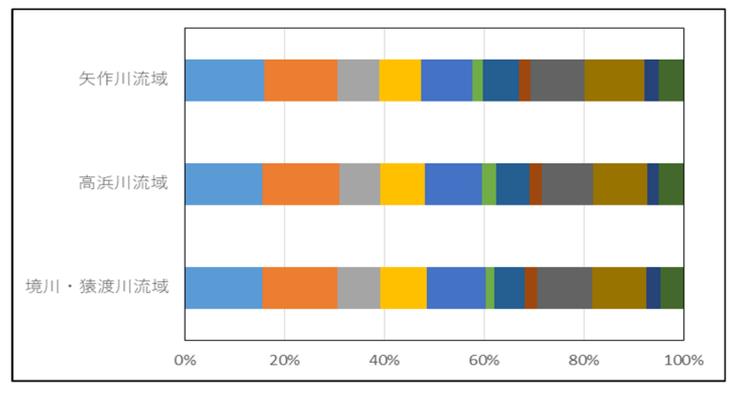


図 1.19 属性単位の回答比率

1.7 大雨対策に関する意見、要望【問 13】

[設問]

大雨対策について、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

[代表的な回答]

① 河川・排水路等の維持管理について

- ・ 県河川の維持管理を実施してほしい。砂が堆積していたり、木が生えている所が多い。(40代・男性)
- ・ 側溝への落ち葉やゴミの堆積について、点検・清掃をすることによって排水が良くなる。(50代・男性)
- ・ 雨水調整池に雑草が年々蓄積してしまい、池底が上昇し、貯水容量が減少していますので、除去が必要と思われる。(60代・男性)
- ・ 東海豪雨の時に、排水路に藁などのゴミが詰まり、自宅前の道路が冠水しました。大雨予想が出た時に、排水路がしっかり機能するように見まわり等を強化することが必要だと思います。(60代・女性)
- ・ 矢作川の中の樹木が、かなり大きくなっているため、大雨の時、水の流れが悪いように思われるため、少しずつでも伐採していくのが良いと思われます。(70代以上・女性)

② 雨水貯留浸透施設の整備について

- ・ 貯留槽のデザインは1つだけでしょうか？もう少し色とか選べるといいですね。資料で知りましたが、うちも写真と同じ色のレンガの家ですので、グレーだったらういてしまいます。(20代・女性)
- ・ 最近、田畑がつぶされ、住宅が増えているので、雨水が浸み込む土地が減っているのではないかと心配しています。雨水貯留浸透施設がもっと広まったら良いなと思いました。(40代・女性)
- ・ 安城のかなりの地域は台地で、明治用水が開通するまでは水を確保することの方が課題であった。しかし、今は台地上でも水田が減っている。降雨が比較的少ないところだが、急激な大雨の場合、都市型水害への対応が必要だと思う。(50代・女性)
- ・ 道路、主に歩道の透水性舗装がもっと普及できればと思います。(50代・女性)
- ・ 緑地(田、畑、庭)が少なくなり、家が建て込み、庭はコンクリートで固められ、道路がアスファルト化され、雨水が浸み込む土地がなくなったことが、二次的には大きな要因ではないかと思う。確かに尋常でない大雨が降ることが第一の原因ではあるが、自然現象で人の力では如何ともし難いので、河川に一気に雨水が流れ込むことを少しでも抑えることを積み重ねていくしかない。(50代・女性)
- ・ 雨水貯留槽、浸透マスは住宅新築時に説明等があれば、設置も増えるかも？(50代・男性)
- ・ 大雨の被害が各地で起きているこの頃、もっと市民に雨水貯留槽や浸透マスの効果を伝えることも大切ではないでしょうか。我家もまだ設置はしていませんが、以前から検討はしています。(60代・女性)
- ・ 雨水貯留槽を設置したいが、価格が高く、年金生活ではとても無理。現在、ポリタンク(90ℓ)×2で対応しているが、老朽化が進み割れて来ているので、早急に取り替えたい。畑の為に、是非安く提供してほしい。(70代以上・男性)

- ・雨水貯留槽の補助金等については、町内会回覧の方が周知されやすいと思います。(70代以上・男性)

③ 浸み込む土地の保全について

- ・安城は自然が豊かで、田畑が市内のあちこちにあります。都市的な大雨対策ではなく、安城らしさがあふれる対策を希望します。(50代・男性)
- ・田、畑、公園、家の庭など、なるべく土の見えている状態にしておいて欲しい。草が生えているのもよしとして、自然の雨水タンクを考えることが必要だと思う。(50代・女性)

④ 水田貯留の推進について

- ・安城市は田んぼがたくさんあるため、田んぼダムなど水田貯留を推進するのはとても有効だと思う。(10代・男性)
- ・大雨の予報が出た段階で、水田の排水によって水田貯留の機能を高める。(70代以上・女性)

⑤ 防災対策（ソフト対策）について

- ・近年の大雨による浸水対策として、早めの避難が人命を守る上で大切だと思った。早めに情報を住民に届けられるよう情報伝達手段の整備とともに、行政の避難指示等の判断を早めに行きたい。(20代・男性)
- ・北部地域の避難所は、洪水時は閉鎖されるようですが、それに対応できる対策を情報提供してほしいです。(40代・女性)
- ・財政状況にも限界があるため、ハード対策だけでなく、ソフト対策の充実を期待したい。(50代・男性)
- ・具体的な危険降水量を提示し、避難の目安とする。早め、早めの情報伝達が必要。(60代・男性)
- ・現在の排水系統がどの程度までならOKなのか開示してほしい。それによって自主的にどの程度すべきか判断ができると思うので。(60代・男性)
- ・防災ラジオ等の有効活用の検討をしてみたいか？(年1回の緊急訓練放送だけでもいい) (70代以上・男性)

⑥ 洪水ハザードマップについて

- ・詳細なハザードマップを各戸に配信（配布）してほしい。(10代・女性)
- ・簡易版で良いので、年1回程度、ハザードマップを市政だより等にはさみこんでほしい。(30代・女性)
- ・洪水ハザードマップで自宅周辺の細かい状況が把握できるマップ。全体の地図も必要だが、自宅付近の身近なマップがあると、じっくり見る様な気がする。(40代・女性)
- ・学区単位での洪水ハザードマップを早い時期に作成してもらいたい。※今のマップでは確認が困難である。(70代以上・男性)

⑦ 大雨対策の計画的な実施について

- ・洪水ハザードマップによる地域毎の具体的な対策の充実と予算確保を計画的に実現する。貯水（調整）池の整備や効果的な減災データ（調査、試算）の取得。(50代・男性)

- ・市内を統一均等的に対策するのではなく、過去の浸水被害地域を優先的にすることが必要ではないか。(50代・男性)

⑧ 大雨対策のPRについて

- ・雨災害に備えるため、行政の方が日々されている努力があるのにも関わらず、その情報が市民に行き渡っていないのは残念です。(20代・男性)
- ・チラシでもいいので、時々大雨対策についての内容など展開してくれるとうれしいです。(30代・男性)
- ・この機会に、大雨対策、災害など本気で考えないといけないと思いました。「広報あんじょう」などで大きく取り上げて頂きたいと思いました。(50代・女性)
- ・道路の冠水情報がわかることを知らなかったので、市は何をやっているのか市民にもっと知ってもらえるように考えて欲しい。(50代・女性)

2 参考資料（自由回答の詳細）

2.1 防災情報の提供に関する要望【問7】

[設問]

現在、安城市では、河川水位観測システムを運用しており、市民の方が市内の降雨量、河川水位、道路冠水の情報を確認することができます。これ以外に提供してほしい防災情報があればご自由にお書きください。

問7の自由回答欄に記載された回答を以降に示す。回答の区分は表2.1の通りである。

表 2.1 回答の区分

防災情報	伝達手段
①：アンダーパス等の道路冠水や通行止め ②：今後の予想降雨量、市外の降雨量等 ③：避難所の開設、混雑状況等 ④：地域の浸水予想 ⑤：河川水位（長田川、猿渡川等の水位） ⑥：カメラ映像 ⑦：公共交通機関の運行状況 ⑧：避難の目安となる水位	①緊急性の高い情報の強制的な通知 ②PCやスマホを使えない方への情報提供

年代	性別	回答	回答の区分
10代	男性	いちいち検索して知るのではなく市からスマホなどに直接配信できるようなサービス	①
	女性	LINEの公式アカウントなどSNSを利用した情報提供をしてほしい。通知で気づくことができるため。	①
20代	男性	降水量に応じて、避難準備の情報を発信するもの。例えば、ある一定の時間、基準の降水が続く場合「あと〇時間ほどで、市から避難を促す連絡（警報等）が発信される可能性があるの で、準備しておいて下さい」等（言葉は適切でないと思います。）もうすでにあるようでしたら すみません。各家庭、スマホをもっていれば、何かしらのツールで連絡できると思いますが、 ご高齢の方（特に一人で住んでおられる方）への対応は課題だと思います。	②
	女性	近年、川のはんらん等が多発していて、避難所がだめになっていたという話もニュースで見ま した。なので、自分達の避難所が避難して本当に大丈夫かを確認できれば助かります。	
	女性	防災ラジオでも放送して欲しい	
	男性	地震によって起こりうる災害予想のマップやくわしい内容、避難所をもっと明確にしてほしい	
	男性	河川水位観測システムのアプリを作成して、危険水位や冠水危険の恐れがある場合に通知して 欲しい。	①
	男性	災害などを予測できるものがあればいいなと思います。例えば、2時間後に降雨量が最大になる など。	②
	男性	河川水位でどのタイミング（危険水位、警戒水位等）で自主避難すればよいか又、行政が避難 勧告、避難指示が出るのかその情報を知りたい。	⑧
30代	男性	道路の通行可否情報。（冠水以外も含め、倒木など）。	①
	女性	。大雨が降った時、家でできる対策の仕方。（窓ガラスの補強の仕方やドノウの積み方など） 。車が坂で水没してしまいそうな場所の情報 など	①
	男性	サイレン発報のような、アナログな情報もあると良い実際いちいちシステムは確認しない。	
	男性	洪水の際に、家の周りがどのようなになるか、イメージできると良いです。	④
	女性	大雨時のアンダーパスが発生した場合の告知を観測局位置図とリンクさせて表示出来ないか検 討下さい	①
	女性	アンダーパスの浸水状況	①
	男性	避難者総数のリアルタイム表示（臨場感や緊張感市民にダイレクトに伝わる。）	③
	女性	避難所についてのこまかい情報	③
	女性	アレクサで避難情報を伝えてくれる。	
	男性	名鉄本線のアンダーパス、自転車道のアンダーパスの冠水情報を知りたい。（通勤で使用する ことがある）	①
	女性	避難が必要な場合などに知らせる緊急メール配信	①
	男性	雨量・水位・道路冠水情報の数を増やせないのか？	①②⑤
	女性	風速と風向が分かると助かる。防災だけでなく日常的に分かると良い。	
	女性	雨雲レーダーなどでこれからどれくらい雨が降るか分かれば事前に備えることができると思う	②
女性	台風の時の暴風情報		

年代	性別	回答	回答の区分
40代	女性	テレビやラジオだけでなく、防災無線の設置を強く希望します。	
	男性	・道路状況 ①浸水していて危険な道路 ②渋滞状況 ・交通機関状況（名鉄、JRの運行情報） ・安城市の中でも、特に災害の危険が高い地域の情報	①④⑦
	男性	こちらからアクセスして得る情報提供方法だけでなく、強制的にハッキリと情報を届ける伝達システムの構築	①
	女性	避難所が開いているかどうか。停電になっている地域はどこか。	③
	女性	バス（あんくるバス、名鉄バスなど）や電車（名鉄JRなど）の遅延の情報（サイトにとぶなど）	⑦
	女性	三河安城や市役所付近のアンダーパスの情報は、どこかでみれるのですか？	①
	男性	キャッチネットワークを使ってタイムリーに情報を展開し被害を最小限にすること。	
	女性	住宅の浸水地区、地域の情報提供	④
	女性	アンダーパスの情報	①
	女性	・竜巻	
	女性	避難所の状況・受け入れしているか、備蓄はあるか、など	③
	女性	各交通機関の情報（道路交通渋滞、鉄道運行情報、あんくるバス運行情報）と、その安全性。	⑦
	女性	各自のケイタイに情報が入るといいと思います。	①
	女性	避難場所までの避難経路（冠水して通行できない道など）	①
	男性	SNSでの通知	①
	女性	避難所の状況。自宅から避難可能な所が複数あります。混雑状況が分かれば、別の場所に向かえます。	③
	女性	併せて避難勧告、指示地域の情報もあるとよい。（該当地域を地図上で着色する）	
	男性	河川水位上昇に伴う避難勧告を早めに知らせてほしい。避難所が市体育館だと最近知り、不安になったため。	
	男性	1時間ごとの雨量の情報	②
	男性	もし川が氾濫した場合の速報マップ（HP等）はどうするのか？	
	女性	おすすめ避難経路があれば表示して欲しい。（それぞれの家庭であると思いますが、おすすめがあればより大雨の時に安全に避難ができるということで行きやすい。	
	男性	ゲリラ豪雨、落雷、竜巻等の異常気象。	
	男性	通行止め情報	①
女性	停電の時の対策。発電機？		
女性	風、雷、雪		
男性	避難時の道路の渋滞状況		

年代	性別	回答	回答の区分
50代	女性	雨水と下水がまざる事はありますが。水道水が汚なくなると聞きました。配管は洪水になると汚水はどうなりますか。	
	男性	自動車での移動が多いのでカーナビへの連携は出来ないか？（マップによる見える化必要） 又、メールでの情報発信にわかりやすい（マップ情報等）の工夫を考えて欲しい	
	男性	食料など防災用品の備蓄保管庫がどこにあるのか（設置されているのか）どうMAPがあると安心	
	女性	。地震災害時の被害状況および、道路等の通行情報。	
	女性	キャッチTVにあるような夜でもみられるライブカメラの映像提供をしてほしい。（数値ではなく目でみえるように）	⑥
	男性	避難所の混雑情報	③
	男性	河川の道路を広げてほしい、鹿乗川の河川敷道路、藤井町北山地区	
	女性	安城はアンダーパスが多いのでそこら辺のカメラなどを付けてもらいたい。その情報もほしい	①⑥
	男性	降雨量の総量、今後の予想雨量避難情報	②
	女性	家の前の道路に水がたまりやすいが、市は気づいていないと思う。大雨が降るたびに、車がかん水しないかとヒヤヒヤしてしまう。	①
	女性	災害による道路の通行止めを明確にしてほしい	①
	男性	震度情報システム 雨量情報システム ホームページへ防災情報のアップ（避難所情報、備蓄品情報など）	②③
	男性	アンダーパスなどの通行止め情報	①
	女性	電車やバスの情報も欲しい。特に大雪の時なども台風などで暴風警報中は休み（小中学校）だが、これからは大雨でもそうなることもあるかも知れないので、誰でもわかるようにして欲しい。	⑦
	男性	色々な情報（今回千葉で起こった停電などで、通信不能などの時、各町、村の公民館などで情報、発電機とか配給等の情報を核にできる様にした方が良くと思います）	
	男性	スマホアプリの展開と周知	
	女性	どういのが防災情報という形なのかが分かりにくいので防災情報である事をわかりやすくしてほしいです。	
	男性	気象情報、特に局地的な降雨量を市のHPから見るができるようにしてほしい。	②
女性	観測局位置図。もう少し見やすいと良いと思う。		
男性	。避難所の状況（人数、食料、充電etc）	③	

年代	性別	回答	回答の区分
60代	男性	ピンポイントの情報をハザードマップを基にTV・ラジオで流して頂きたい。	
	男性	スマホ、PCがない家庭での対応は？	②
	女性	大きな河川だけでなく、小規模な排水路、フタのある排水路の中の沈殿などの情報もほしいと思います。	
	女性	テレビでキャッチが見ることが出来る人は良いが、キャッチが見れないとなかなか情報がわからないのではないか。	
	男性	鹿乗川カメラ設置	⑥
	男性	道路冠水に伴う、上下水道の安全や状況、避難経路の周知、市内各所にある広場や駐車場のかさ上げ（土地を高くする）など、工夫できるところを全て、網羅できるとよい。	①
	女性	地域の避難所の立地、高台等に有るかどうかが、すべて見直しし、適切で有るかどうかが再評価が必要ではないか。もし不適切であれば移転もしくは高台に有るマンション、企業の施設などに協力を求め、指定避難所に出来る様見直す。	
	男性	Webカメラ3台しかないが安城南部にも必要ではないか当然だが下の方へ水がながれる（海の方へ）	⑥
	男性	カメラとかもつけて、キャッチとか安城市HPでリアルに見れるといいと思う。これはどこで見られるか、まず知らないです。毎日、気軽に見られるといいと思います。ケータイで、アプリとか、正直めんどくさいです。	⑥
	女性	どんな情報も目の前のことしかわかりません。ドローンを使って高い所から見る目も必要と考えます。	
	女性	FMラジオ83.8チャンネルでも情報提供してほしい	
	女性	ケータイは持っているが、機能は使いこなせないため、QRコードとか、「～にアクセス」とあるが、インターネットに繋げてないし、出せないで、見られません。テレビで情報は見ることがほとんどなので、テレビでカンタンに見られる方法を作ってほしい。	②
	男性	横山町の長田川の水位が少しの雨でも上昇しり面を超え道路が冠水して駐車場に入っている川底が浅いのが原因と想定される。（川巾が狭い所、広い所等）冠水する前に町民知らせる観測システムを設置出来ないか検討して欲しい又、川底と川巾を整備して欲しい。	⑤
	女性	市内の降雨量、河川水位だけでなく河川上流域の降雨量、河川水位の情報もあるとさらに良いと思います。	②⑤
	女性	システムを利用したことがないので、よく分からないのですが、車に乗ってれば渋滞情報・迂回路が分かるとよいと思います。	
	男性	独居老人宅への情報提供をどうするのか。救出方法の確立誰がどのように	②
	男性	過去水害の起きた地域住民への行動マップの広報、水位の活用啓発。	⑧
	女性	電線電柱など確認（特に古い電柱など）	
	女性	今回、河川水位観測システムを安城市も取り入れている事をしりました。もっと周知した方が良いと思います。また取り上げている河川に片寄りがあります。長田川も入れて欲しい。	⑤
	女性	アンダーパスがどのくらい安城市にあるのかわかりませんが、道路冠水の情報の中に入っているのでしょうか？清洲市のアンダーパス冠水で亡くなった方がいたのを思い出しました。	①
	男性	短時間大雨情報を細かく区割して提供してはどうか。キャッチの情報とコラボして！	②
	女性	アンダーパスの通行について。大雨が降った時にアンダーパスのかなり手前から通行止め表示等で確認ができるとう回もスムーズに出来ると思えるが、現況はどのようなになっているのか？	①
	女性	ケーブルテレビキャッチから安城市の情報が簡単に得られる様にする、QRコードを使った事がない者が実際に多くいる防災情報を提供する担当者が楽をして情報提供を考えるとろくな事にならない、受ける側に知識がない。	②
男性	スマホ等がないため、QRコードではアクセス出来ないホームページからの方法をのせるべき。		
女性	○テレビキャッチでの情報が確認できるのでしょうか？ ○アンダーパスの情報	①	

年代	性別	回答	回答の区分
70代 以上	女性	今住んでいる所ではどこの河川の水位を見れば良いかわからない	
	女性	橋桁に流れせき止める、粗大ゴミの有無、状況のチェックも必要と思います。	
	男性	五時のTVなどの気象情報だけでは、市民としても足りない気がいつもしておりますが…	
	男性	。雨水の河川状態防災ラジオの活用して、早めに対策の必要な時は市民に知らせる。	
	女性	問5は時代遅れです。平成24年度は時代にあいません広報2019NO1938を参考に	
	女性	河川周辺の水没予想水位。	④
	男性	近隣市の降雨量等	②
	男性	道路の雑草、河川の雑草の繁茂が著しく、道路、河川の区別がわからない所が目立つ。本来は環境づくり等の言葉をたびたび、読んだり聞いたりしているが、そう言う所から、安城市を美しくしてほしい。防災にもつながると思います。	
	男性	集中豪雨や、ゲリラ豪雨が予想される場合は、広報（車やラジオ）等で早めに知らせてほしい。	
	男性	大雨時の地域危険予測情報	④
	男性	TVによる情報に安城が無い！測量地点が無いのかな？河川の情報より、TVでの気象情報が安城では確認できない。碧南、西尾高浜は出ても安城だけ抜けていて淋しい。	
	女性	河川に住んでいませんが、もし台風が強ければどこからくるかわからないので避難所などあればいいなと思います一人ぐらしです池が近くに有りホームページを見るものがありません	②
	女性	安全な道路・避難路が明確に示されるといいと思います	
	男性	面積に対し河川が小さい河中を大きくしてください。場所、古井団地南側の河川	
	男性	。アンダーパス情報が一目で判るように。	①
	男性	河川水位観測システム、観測局位置図の状況を初めて見られ、その精度の高さに驚いています。これ以外の情報の必要は感じておりません。	
	男性	町内単位で大雨に対する話し合いが必要と思う。	
	女性	キャッチ以外のテレビ情報がほしい。	
	男性	洪水ハザードマップが、大きい範囲での提示で、細かい部分がわかりにくい。もう少し、細部までわかる、地図にしていただけたらと、思います	④
	女性	我が家は、猿渡川が近くにあり、かなりすれすれになった時がありましたが里町小学校に早めに行くのであれば良いがぎりぎりになってなら我が家の二階の方が学校よりは少し高めになるので安全かと思えます。ただし、とり残されると、大変です。	
	男性	雨量、水位、冠水などの危険予想がほしい。	②④
	女性	避難所情報	③
	女性	老人にはアクセスの方法がわからない	②
	男性	アクセス方法（P6ページ）はQRコードで調べることですか？QRコードで調べる方法を市民の方が理解している人は何%いるのでしょうか？もっとわかり易い方法はありますか。	②
	男性	ハザードマップを各戸に知らせる。	④
	男性	平坦な安城市は矢作川の河川氾濫等伺っていない水害には恵まれた地域と思っておりますが、過去に地震ではかなりの被害があったと聞いています。東海地震による津波は全く心配ありませんか。（各地域公民館のポイントたる地盤標高を公示下さい。）	
	男性	。現在“里町北井畑”に住んでおり、“猿渡川”が町内の北側を流れています。道路と交差する橋の近くに“水位観測柱”を設置し、その位高の次第で、避難の指示板を併設して欲しい。話は良く聞いていて判るが、状況に直面した折に、具体的に行動を促がす指示がほしい。	⑤
女性	南にU工事で春は昨年遣水が流れておりました春と秋2回町内会で掃じして居ります今年もU坑に水が流れ無くほこりと、土がたまります清掃は10月20日（日）に掃じする事になって居ります。春から夏迄は今迄通り流して、頂いた事が、良いと思えます。少しでよいのですが、砂がたまって、ほこりが建ちますからです。		
未記入	キャッチの11.12のチャンネルで見ている。		
女性	安城市は防災対策がしっかりしており安心しています。		
男性	河川の名前を川岸に立てて下さい。用水か排水路も同じです		
女性	通行止め場所	①	

2.2 大雨対策に関する意見、要望【問 13】

[設問]

大雨対策について、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

問 13 の自由回答欄に記載された回答を以降に示す。

年代	性別	回答
10代	女性	『「もしも」の場合』というものを体験したことがないので、それに備えることができるような情報があつたら伝達してほしい。
	男性	・防災イベントを実施してもあまり効果はないと思う。 ・安城市は田んぼがたくさんあるため、田んぼダムなど水田貯留を推進するのはとても有効だと思う。 ・市民の防災意識を維持するためには、市全体で一体感を持つこと。さらに一か月に一回は防災の情報を回覧板にのせたり、河川の草刈りのボランティアなどを市が求めたりして市役所が中心となって市民全員が主体的になって防災について行動することが大事だと思う。
	女性	安城市に住んでいて大雨の被害に遭った経験がほとんど無いので実際に大きな被害に遭った時に混乱する市民も多いと思います。そのような場合に冷静に安全な行動ができるように対策を充実させてほしいと思います。
	女性	詳細なハザードマップを各戸に配信（配布）してほしい。（最新版）アンケートは無記名式とのことですが、1ページ目の数字表示で、誰の物かわかるのではありませんか？地域ごとの集計の為の数字なら良いですが、地域ごとの数字であれば、その様に説明を添えていただくと良いと思います。
20代	女性	冠水する前にアナウンスがあるとよいと思いますが、正直よくわかりません
	男性	対策といわれても、被害にあったことのない現時点では、よくわからない。被害にあわれた地域の情報を集めて、発信していただけることを期待しています。
	男性	20年以上安城市に住んでいますが、大雨による大きな被害がなく、安心して暮らしています。強いて言うのであれば、道路のへこみ等に雨水が溜まってしまい、運転車、歩行者への危険性があるのもたしかです。そして、雨災害に備えるため、行政の方が日々されている努力があるのにも関わらず、その情報が市民に行き渡っていないのは残念です。若い世代には特に、スマートフォンの普及で、情報が伝わりやすくなった半面、コンテンツの多さから、市からの情報に目を通す人が少ないのも現実です。まずは、今現在進められている施策を遂行して頂き、細かい部分は、今後検討して頂ければと思います。他地域のケースをモデルに、想定外の想定外まで想定するくらい、念には念をの考えで、どんな災害にも屈しない市を目指して頂きたいです。いち市民として、全力で協力します。拙い文章ですみません。貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。行政の方々、市民の安全な生活のため、これからも住みやすい安城を保全するため、可能な範囲で、ムリなく頑張ってください。いつもお疲れ様です。ありがとうございます。
	女性	大雨対策ももちろん大切ですが、交通渋滞の解消もできるだけ早く検討してほしいです。
	女性	安城は田畑が多い為か水害の少ない土地のような気がします。自然豊かなことに感謝します。又、市民の安全の為に動いて下さってありがとうございます。
	女性	貯留槽のデザインは1つだけでしょうか？もう少し色とか選べるといいですね。資料で知りましたが、うちも写真と同じ色のレンガの家ですが、グレーだったらういてしまいます。
	女性	安城市に住んでいる人でも、他市へ仕事へ行く人もけっこういる。近場の市とアクセスするところのかん水情報など手広く知りたいときの情報収集手段を知りたいです。
	男性	対策システムがあることをわかっていなかった。もっとアピールしてみんなに知ってもらった方がよい。良いことをしてくれているので、今後もがんばってください。
	男性	自宅が矢作川近くなので、今以上に水害に対して危機意識を高めたいと思いました。自分と同じように市民の危機意識が低いと思うので、それを高められるような施設があるといいとも思いました。
	女性	祖母の自宅が、東海豪雨の際床下浸水しました。独居高齢者は豪雨災害のみならず色々な災害で避難できる先が本人と家族もわかるとよいですね。千葉での台風被害のときもそうですが、インフラ整備も少しずつ進めていく必要があると感じました。
男性	近年の大雨による浸水対策として、早めの避難が人命を守る上で大切だと思った。早めに情報を住民に届けられるよう情報伝達手段の整備とともに、行政の避難指示等の判断を早めに行うようにしていただきたい。	

年代	性別	回答
30代	男性	防災情報（避難情報）など連絡網の整備。（特に末端へどのように連絡されるのかわからない。不安がある。）特に洪水などへの対応
	女性	今回の台風19号で沢山の地域で甚大な被害があり、とても心を痛めています。被害に合われた方、亡くなられた方がテレビを見るたびに日に日に増えていて、本当に見ていて辛いです。安城市では、災害になる事が無くとても有難いですが、防災の意識を思うと私含めて低い気がします。なので防災イベントなどで興味を高めて、シュミレーションなどをして防災意識を高めるべきだと思いました。被害に合われた方々には1日でも早く復興、復旧を願います。私にできる事をしていきたいです。
	男性	簡易版で良いので、年1回程度、ハザードマップを市政だより等にはさみこんでほしい。最近引っこしてきたが、ものを見た記憶がない。
	女性	・防災無線・スピーカーの設置があれば深夜等でもより早い避難対応が可能に成ると思います ・里町小西側の猿渡川（宮橋⇄八幡橋）川幅が狭く法面も継ぎ接ぎなので100mm/h以上降水が何時間も続くと道路に溢れ、道路が下ってるので冠水し易いので川底も深くして改修を要望します（理想は宮橋から下流の法面）
	男性	安城は東（鹿乗川）側以外は浸水しにくいように思う。上記の雨水貯留槽の拡充は効果的だと思う。むしろ、大地震における、矢作川の逆流（米津～桜井）が恐ろしいのでは？
	男性	チラシでもいいので時々大雨対策についての内容など展開してくれるとうれしいです。
	女性	大雨になった時、あらかじめの準備、用意するもの避難の仕方などすべての情報が入った冊子などがあればいい。1冊で完了しているもの。
	女性	工場地帯に緑地を整備
	男性	○高浜市から移住してきた印象としては、安城市はよく整備されていると感じるが、防災無線のスピーカー等が行き届いていないようにも感じる。 ○トヨタ系の方等が多い地域で、地域で何かやり遂げる、という意識が薄いと感じるし、当方も、隣人は他人としか見えない所がある。そういった環境で、「地域で…」と言われてもピンと来ない面がある。 ○北部地域在住であり、「この辺では大丈夫」という意識もある。（その反面、この考えはいけないとも考えている）
	男性	本アンケートを含む施策の結果と反省の展開（市民）
	女性	側溝にふたがないのはなぜでしょう？全部にふたができない理由があるのでしょうか？雨の時、子どもが落ちないか心配です。
	女性	安城市は大雨で苦しんだ事が少ない街ですが今後は何が起こるかわからないので、対策を進めていただけたらととてもありがたいです。安心して暮らせる様に、とても期待しています。いつもご苦労様です。本当にありがとう
	女性	このアンケート、浸透マスは、文字と写真や図面を載せたら分かりやすかったと思います。結局、浸透マスが何なのかよく分からない。目にしたことがない。どんなのか分からない。工事が簡単なのか不明。台風19号後に改めて今、雨水について考えていますが、雨水タンクを設置したところで、その効果の程は…？市民が浸透性に対して補助金で工事する、そのイメージが全くつかないのですが、どこでやっているか、施工例が不明。最近の舗装道路は水はけがいいなーと思いますが、アレですか？一般市民の関係するイメージは一切ないです。
	女性	上下水道への影響を知りたい。
	女性	道路ですごく水がたまっている所があったりするので、平らにしてほしいです。
	男性	対策に対し市民に分かる様に説明が欲しい
女性	市民と協力して活動することで、市民の意識も高まり、とてもいい活動だと思います。	
女性	大雨によって道路が水に浸かって通行できなったり、線路が水に浸かってしまって電車が止まるなどして、帰宅困難に陥って、本当に酷い体験を愛知県外に住んでいた時にしたことがあったので、安城市ではそのような思いをしなくて済むようにしてほしい。	
男性	安城市が取り込んできた大雨対策が紹介されていましたが「結果どうなったのか」の記載が欲しい。排水の雨量が高まったのは理解できたが大切な事は被害（災害）がなくなる（少なく）事だと思います○○年は○○件だった⇒対策により○○件と減ってきたなど	

年代	性別	回答
40代	女性	北部地域の避難所は、洪水時は閉鎖される様ですが、それに対応できる対策を情報提供してほしいです。
	男性	・最近、台風が多く、その度に注意が必要で不安になります。道路も、浸水して危険な箇所も多々ありますので、整備してほしいです。台風で言うと、本当に危険な時間帯がいつからいつまでなのかの情報を知りたいです
	女性	台風19号や最近の雨の量の多さにびっくりしています。矢作川も氾濫したら、自宅はどうなるのか。こわいです。もう少し堤防を高く、頑丈にして頂きたいです。
	男性	平成20年豪雨の際等、その当時安城市に住んでいなかったため、どういった被害だったのか分かりませんが、街の造りを見ていると大雨対策はできているように考えます。しいていえば、地震・その他災害に備え避難所の充実、備蓄の確保などの充実を促進して欲しい。今の災害は、対策をしてもそれを超える、被害が出ます。被害後の備えの拡充を求めます。
	女性	今の台風などの大雨は想像をはるかにこえています。子供が心配なので学校を休みにするなど、柔軟な対応をお願いしたいです。とにかく、安全第一で!!!いつも市民のためにお力を尽くして下さり、ありがとうございます。
	女性	自宅周辺の洪水ハザードマップで細かく状況の把握の見える化のマップ全体の地図も必要だが、自宅付近の身近なマップがあると、じっくり見る様な気がする(意識の向上)
	男性	瞬間最大風速に耐えられる湖岸(護岸)の整備、更には市民に与える影響度を考えて照準をしっかりと合わせる事。
	男性	安城市は、周辺の市より大雨には強い街だと思わしく、まだ大雨になると用水などが氾濫し、道路が冠水する箇所がある。そのような場所を、重点的に整備していけば良いのでは。(数十年変化がない)
	女性	安城市に住んで10年以上になりますが、一度も大雨による影響を受けたことがないので、対策がしっかりされているのだなと思いました。最近、田畑がつぶされ、住宅が増えているので、雨水が浸け込む土地が減っているのではないかと心配しています。雨水貯留浸透施設がもっと広まったら良いなと思いました。
	女性	①大雨ではないが、大地震の時の津波のハザードマップがあるのかわからない。地震ハザードマップの浸水分布図がそれですか? ②洪水のハザードマップについて、地図が昔のもの?なのかわかりづらい。桜井周辺ですが、道もかわっているので自分の家の場所がわかりづらいです。安全なのか、そうでないのか。③防災無線の設置
	女性	雨水貯留槽の補助金額が工事費の1/2では、なかなか普及しないと思う。せめて3/4くらいにするともっと設置世帯が増えるのではないかなと思う。節水にも良いと思われ、もっとPRし、普及すべきだと思う。
	女性	暴風警報のように、危険を伴う大雨時も、学校等を休校又は自由登校日にしてほしい。給食のキャンセルはできない、(この場合)条件つきでもよいと思います。
	男性	県河川の維持管理を実施してほしい ・砂が堆積していたり、木が生えている所が多い
	男性	10/13の台風のとき河川の情報を見て、気をつけようという意識は持ったので、情報は役立ったと思う。浸水対策として浸水しやすい地域の住宅などに(難しいと思っているけど)土のうなどの提供ができると少しは安心感を持てるのかなと思いました。(自分で作るのは大変なので、浸水を防ぐものが常備できれば、河川の近くは特に。)
	女性	ハザードマップで1階までしかこないのを知っていますが、もし避難となった時に2階に居ればいいのか避難所に行った方が良いのかわかっていません。
	女性	安城の役所の方々は、とても有能で安心してます。ここ20年、とてもどんどん良くなっていると実感できます。気づくと調整池が新しく出ていたり。対応がとても早いので、すごいなって思っていました。さらに色々、考えていく、役所の方に敬意の思いです。私は安城市に対して大変満足してます。
	女性	河川水位観測システムの運用がある事を、この資料を読んで初めて知りました。実際に検索してみました。が地図の画像が荒く、自分の家がどの辺りなのかのわかりづらかったです。もう少し見やすくなるとありがたいと思いました。
女性	近所に大雨の時いつも雨がふれるところがある。付近の人がかわいそう。なんとかならないかなあ。	
女性	大雨の予報がある時には、雨が降る前からの対策をしてほしいです。雨だけでなく災害時に少しでも早く対応出来るよう、地域でも、対策案をもっているといいと思います。	

年代	性別	回答
40代	女性	河川の整備は大雨の為にとても大切と思いますが日々、草・雑草がいっぱい生えており、とてもきれいとは思えません。排水路もきれいにできるように市民に促しをしてほしいです。
	男性	身体の不自由な方や、高齢者でも自動車を使わず、安全な場所へ行ける様アイデアを出し合い実現して欲しい。単純に逃げるだけでは、投げやり感がある。移住者が増えすぎて近所づき合いもおかしくなり火事場泥棒の率もあがるだろうし全体的に色々考えないと次から次へと問題はおきる。
	男性	命の危険を感じるような大雨が全国的に見られ、人ごととは思えない。川の近くに住んでおり、避難所も遠く心配です。近くに大きな避難所があれば安心だと思う。(里町)
	男性	H24以降のハザードマップの見直しスパンはどうなっているのか？また、ハザードマップ出版後に川の氾濫防止(堤防等)はどんなふうに進めてきているのか？(今度発行されるハザードマップはH24版より良くなっている・・・よね?)
	女性	アンダーパス等危なくなる前に、物理的に素早く通行止めにしてほしいです。
	男性	就寝中でも河川の増水等に気付けるような手段があれば、多少の大雨でも安心して寝れるのですが…。車が水没しないように…。
	女性	現在小中学生は大雨の警報では学校や親の判断で登校を決定しているが、雨こそ傘をさして風にあおられ危険なので強風(暴風)と同じ扱いにして欲しい。また市内の企業も同様に無理な営業を避けるように指導してくれたらと思う。親も職場までの行き来は大変だし子供だけ家に置いておいて万一のことがあったらと不安に思う。
	男性	矢作川の砂や木など片付けや大雨の対処に100年対策をする。
	女性	飲み水、食料の確保、水害に合った後の補助金制度。
男性	防災対策が行なわれていても上限が必ずあるため事前にその値が表示され、理解されていれば早めに避難できると思う。	

年代	性別	回答
50代	女性	大雨が急に降ると、家の前の道路や、どぶの水があふれて湖のように水がたまり、我が家の駐車場まで流れてきます。何か対策してもらえませんか…毎回急な大雨がこわいです。床下まで、入ってきたらと思うと毎回不安です。車も心配になります。道が少し坂になっているようでなか卯とタートルの間ぐらいに、たまってきます。
	女性	安城市は山、海はない。川は近にはありません。危機感がまだまだ少ないです。（ニュースで見ているが…）雨水タンクはいくら？なの、とか、工事費はいくら？などお金のことが先に気になってしまいます。これではいけないはずなのに…お金ではないですよ。この機会に、大雨対策、災害など本気で考えないといけないと思いました。「広報あじょう」などで大きく取り上げて頂きたく思いました。
	男性	側溝への落ち葉やゴミの堆積について、点検・清掃をする事によって排水が良くなる。側溝のフタは、簡単に外せない。
	女性	今後も今まで同様な施策をお願い致します。自主的にもっと危機感を持ち行動する事が必要だと思いました。
	女性	安城のかなりの地域は台地で、明治用水が開通するまでは水を確保することの方が課題だった。しかし、今は台地上でも水田が減っている。降雨が比較的少ないところだが、急激な大雨の場合、都市型水害への対応が必要と思う。又、矢作川水系など、もともと低い地域については、いざという時どうするかについて、住民、行政の間で意見交換をしていくことが必要だと思う。今回の台風被害を見て、同等の状況がこのあたりでおきた場合の装幀をした上で、被害を防ぐ方策について検討をお願いしたい。又、湯水対策もあわせて考えていくことは必要と思う。矢作川上流地域と安城市は交流しているが、矢作川水系の市町村で、治水についてもっと検討することとあわせて、住民をまきこんで、上下流で交流する機会（それも継続的な）を盛り上げていければと思う。
	男性	洪水ハザードマップによる、地域毎の具対的対策・立案の充実と予算確保を計画的に実現する。貯水（調整）池の整備や効果的な減災データ（調査、試算）の取得農家の水田及作物田、特に休耕地の活用（但し、農家第一で考える）大災害時は、作物の被害があるため、農家への補償を引き替えに河川等からの作物田への引き込みによる調整池としての役割は出来ないだろうか？（自動（水位センサー必要）にて開閉できるシステム必要）
	女性	道路、主に歩道の透水性舗装がもっと普及できればと思います。
	男性	安城市安城町宮前55付近に保育園の駐車場がある。この駐車場は大雨の時付近の住民の車を避難する場所となっているが、その隣のJA駐車場を借りている人々はその駐車場へ停めてはいけないと保育園駐車場の隣の道路に接した方が言う。その人は市から言われていると言う。私はその向いのマンションに住んでいるが、「近隣住民が避難して良い」と看板で書いてあるにもかかわらず、「市から言われている」とあたかも管理人みたいに話す。市や保育園はその方に管理委託しているのか？していないのなら指導してほしい。
	女性	安城駅南側の商店街を流れるどぶ川があふれたら…と考えるとぞっとします。春～秋にかけてあまりに臭く、本当に住みにくい街だと思います。商店街や住宅街を歩くと吐きそうになり、家の中までどぶのにおいがあがってきます。下水を通じて？大雨で川があふれたらあの汚水が街中に広がるのかと思うといやになります。
女性	排水口の清掃を定期的に行い、洪水しない様にしてください。	

年代	性別	回答
50代	女性	緑地（小田、畑、庭）が少なくなり、家が建て込み、庭はコンクリートで固められ、道路がアスファルト化され雨水が浸み込む余地がなくなったことが、二次的には大きな要因ではないかと思う。確かに尋常でない大雨が降る事が第一の原因ではあるが、自然現象で人の力では何如ともし難いので、河川に一気に雨水が流れ込むことを少しでも抑えることを積み重ねていくしかない。日本は災害列島で、あらゆる自然災害を考慮に入れて、対策を考えねばならないと思うが、それと同時に経済発展も目指すとなると、矛盾点も大きいと思う。今後、大雨も多くなるだろうが、酷暑も多くなるだろうし、地震もこの地域では予想されている。これらが、同時期に起こることも考えられないわけではない。人間の日々の営みのあり方や、人口増加集中の現状について考えると、一地域に収まる問題ではなく、日本のあり方、政治のあり方（何を中心に据えて考えて行われている政治なのか）、世界との関わり方についても、多くの人がもっと主体的に考えていくかが求められているのではないかと思う。短期的な物の見方、営利だけを追求するのではなく、考え方を個人個人がしなければ何も変わらない。
	男性	定期的な市民の意識調査を実施して市政に反映して欲しい。
	男性	異常気象がこれから増加すると思われるので、大雨の降ったすぐ後に全戸にアンケートを取り安城市全域の現状を把握した後、必要と思われる場所に対応をすれば良いと思います。
	女性	矢作川等、大小河川の川底ざらいをして水容量を増やす。
	男性	財政状況にも限界があるため、ハード対策だけでなくソフト対策の充実を期待したい。また千葉県のように住民生活に負担がかからないよう、市としてできることを検討頂きたい。避難所の充実など
	男性	<ul style="list-style-type: none"> ○市内を統一均等的に対策するのではなく、過去の浸水被害地域を優先的にすることが必要ではないか。 ○50年に1度の豪雨が毎年日本のどこかで起きています。想定外で対応ができなかったということにならないように想定外を想定して対策をお願いします。 ○安城は自然が豊かで、田畑が市内のあちこちにありま す。都市的な大雨対策ではなく、安城らしさがあふれる対策を希望します。
	女性	私は北部地域に住んでいますが、避難場所である、公民館、学校が全て川の付近にあるので、大規模水害時には避難場所として使用できないと先日広報で知りました。最寄りの避難所は国道、名鉄を越えての場所となり遠いと感じます。せめて名鉄新安城、八千代病院附近で避難場所を設置できたらと思います。
	女性	安城市はアンダーパスが多いので、心配です。
	女性	排水路が小さいので大雨が降ると排水から水があふれてしまうのもっと大きくしてほしい
	女性	水害に強い安城だと思います。
	男性	車が水没した時の脱出方法やマンホールの穴の吹き上がり、などニュースで見る光景のことをやってほしい！
	女性	町内会単位での防災訓練は行うところが多いと思いますが大雨についての問題は、あまり話し合われていないと思います。水田が減少してきているので、過去水田が多かった地域も大雨対策を町内でも問題にすると年輩の方にも伝わっていくと思います。
	男性	透水性舗装を計画的に増やして欲しい。車の運転もしやすくなる。
	女性	防犯カメラなど、色々なカメラから地域のお天気情報なども知ることができれば、もっと良くなるのではないかと思う。道路の冠水情報がわかることを知らなかったのも、市は何をやっているのか市民にもっと知ってもらえるように考えて欲しい。
	女性	田、畑、公園、家の庭など、なるべく土の見えている状態にしておいて欲しい。草が生えているのもよしとして自然の雨水タンクを考える事が、必要だと思う。
	女性	となりに田んぼがあり、あぜが低いので、大雨が降ると家の庭に水が流れてくる。田んぼのあぜをしっかりしてほしい。
男性	具体的な意見は無いが、今回千葉で困った人の様な人が安城に住む人々に起こらない様、教訓にして頂きたい	
男性	ハザードマップの各宅配布をお願いします。	
男性	特に今回の台風15号19号の経験より下水がオーバーフローした時、なかなか復旧しない事がわかりました。下水場の浸水対策、下水管の予備、下水用予備タンク設備これらを考えていきたい。	

年代	性別	回答
50代	女性	雨水タンクを利用したいが、実施どれだけの費用がかかるのか？このパンフレットのみではわかりづらい。具体的に工事費がいくらかかるのか？はっきりした金額を明記して欲しい。安城での雨水タンクの利用率を知りたい。
	女性	防災ラジオで、大雨の状況とかを、連絡してもらえるのでしょうか？
	女性	今迄に冠水し、通行出来なかった箇所を、すぐ調査し改善して頂きたいです。河川の増水で橋が渡れなかったり、ガード下に水があり、通行出来なかったとき、道路も、低い所に水が流れ込んで怖かった事があります。よろしく願い致します。
	男性	○雨水貯水槽の設置に対するメリット（庭の水まき）がない。 ○浸透マスについても、自分にメリットがない。 ○上記2つは新築住宅時に説明等があれば、設置も増えるかも？
	女性	近年の、豪雨のニュース等、他人事では、無いという思いで、居ます。日常での出来る事を、やっっては、いますが（排水溝の掃除等）想定以上の事が起こると思いますし…市が先に立って対策していただける事は、ありがたいと思います。また、アンケートに基づく結果等、多くに知らせていただきたいです。市、市民全体で対策して行く事が大事だと思います。
	女性	○停電時の自家発電機の整備 ○街路灯のソーラー化
	女性	大雨対策について考えるきっかけになりました勉強になりました。ありがとうございます。
	女性	聴力に障害がある。
	男性	作野小が池になった記憶はあるが、それ以降、大雨になってないと思う。市の対策が万全なのかは、不明な所がある。
	女性	資料を見て、対策を色々されていることを改めて知りました。ありがたく思いました。これからもよろしくお願い致します。
	女性	公園の地下に整備された雨水調整池などはとても良いと思う。整備された公園がさらに増えると思う。
	女性	安城市は平らな地形なので水害等はあまりないと思っています。ですが近年の異常気象によっては災害もありうるので、対策するのは必要ですね。
男性	最近、豪雨による短時間での河川・排水路の氾濫が、ニュースで取り上げられる事象が多く、我が家の近くにも河川が有り、整備されているのは分かっているが、想定外の大雨が当たり前となっている今日この頃で心配。	

年代	性別	回答
60代	男性	1、2が全てと考える。装丁が、は通用しない時代となっている。
	男性	各家庭にあるテレビ、ラジオを活用したこの地域の情報を時間毎に提供できるシステムの検討を。
	男性	避難勧告が出た場合、避難指定場所に行くまでの安全な経路の明確化をお願い致します。
	女性	以前、川に草が生えていたり、泥があり雨が降った時に溢れたと聞いた。川の中も綺麗にしていきたい。
	男性	市民の立場で小さな地域単位で整備してほしい
	男性	矢作川が天井川の為、これ以西の土地は“低地”のまま危険度は高い。工夫した耕地（農地）整備や、都市（街）づくりを検討したい。整備ばかり進めて、それが実際のところ天災に強いのかどうか、或いは一部地区に限られ、不安なところが、ずっと不安で危険…という状況になっているのではないかと。それで市民全体の幸福と言うのかどうか。こういうアンケートがどのような集約、集計が具体的にどう反映されるのか不安である。
	女性	台風19号による水害の恐ろしさを改めて感じた。今まで水害に感しては、自分にとっては、特に困った事がなく他人事の様になっていたが、良く考えてみたら自宅近くには猿渡川もあり、氾濫したらと思うとひとごとではないと思った。万が一に備えて、土手の強化、停電、断水になった時の迅速な対応が出来る様をお願いしたい。
	男性	対策には限度があるので、万一の場合の復旧対策に重点を←生活インフラ
	男性	排水路場所によってパイプ等されている。もっとパイプ化ないか、場所によって増水した時、通行等出来なくなるおそれあり。
	女性	・近年、台風や大雨の被害を本当によく目に、耳にします。安城市もいろいろな取り組みをしている事、大変心強く感じました。“雨水貯浸透施設”については、工事などがともなう事なので、現在のところ考えていませんが、将来こういう施設に対する意識も高めて行かなければならないのか…とも感じています。
	女性	電気、ガス、水道のインフラを確保・整備の充実水害のハザードマップが必要
	男性	大雨対策ではありませんが、畑、水田が少なくならないような土地にしてほしい。市街地に住んでいるので、農家さんには申し分けないなあと思うのですが…矢作川の治水について情報公開をしてほしい。上流から下流で水を流す時、大雨の場合どこで決壊させるとか、市民の共有情報にしておいてほしいです。
	男性	避難場所の周知を展開していただいたら役に立つと思います。大雨と地震は同じ場所？
	女性	情報をインターネットで得るとい事をおっしゃっていますが停電の時の対策をお考えですか？年寄りにその方法はベストですか。最後は人と人との声のかけ合いだと考えますが、いかがでしょうか。
	女性	普段、自転車道を使ってるが、大雨の時も、冠水してしまう。車道ばかりでなく、自転車道にも配慮してほしい。関係ないかもしれないが、自転車道の地下道辺り、泥はねがひどいので、防水壁みたいな物はできないでしょうか？思いっきり泥水をかぶります。
	女性	水の貯留は、水位が越えればいっきに水害に変わるので、排水と浸透の管理を、きめ細かくする方向が良いと思う。何でも、セメントで区切って水を流す方法は、環境にもよくないと思う。
	男性	アスファルト道路は水が地面浸透しないので少しの雨でも冠水して災害が発生している。幹線道路だけは透水性舗装にして欲しい。透水性舗装は、雨水の光乱反射を防ぎ視認性が緩和され事故防止にもなる
	女性	今まで大きな災害にあっていないので、ニュース等を見ていると、用意をしなくてはと、思いつつ、今まで来てしまいました。人事の用に思ってしまったが、こういうアンケート用紙をいただいて改めて、考えさせられました。今日から改めて、考えていきたいと思ひます。家族で、少しずつ話しをしていきたいと思ひます。
	男性	東海豪雨の時、名古屋市でポンプが動かないとかありました。このようなことがない様に日頃のチェックを確実にお願いします。
男性	現在自宅に居て大雨に関する要望は有りません。	
女性	各地で想定外の自然災害が起こっているのも更なる危機管理をお願いします。	

年代	性別	回答
60代	男性	雨水調整池に雑草が年々蓄積してしまい、池底が上昇し貯水容量が減少していますので除去が必要と思われる。重機で根こぎ除去（コンクリートが見える迄）
	女性	東海豪雨の時に、排水路にワラなどのゴミがつまり自宅前の道路が冠水しました。大雨予想が出た時に、排水路がしっかり機能するように見まわり等を強化することが必要だと思います。
	男性	想定、想定外のレベルを設定し市内の危険箇所を確認し、市民に計画的に対策して欲しい。
	男性	低地地域での防災への周知・イベントの充実。具体的な危険降水量を提示し、避難所の目安とする。早め、早めの情報伝達が必要。
	男性	異常気象なので、前もっていつでも対応できるように対策準備します。
	女性	今後は想定外の災害が発生する自然環境（温暖化）になっていると思います。その想定外にある程度対応できるだけの規模をもって、防災対策を自治体をお願いしたい。それプラス自助努力を促す広報活動が必要だと考えます。
	男性	イベントは、多額のお金を使う割に効果がないように思う。
	男性	・短時間が問題となるので現在の排水系統がどの程度までならOKなのか開示してほしい。それによって自主的にどの程度すべきか構築判断ができると思うので。 ・キャッチなどで、安城市洪水警報がでていますが、どの地域なのかよくわからない。避難も含めて。
	女性	借し農園の排水路が管理されず、かぼちゃ等で詰まっていたりする。地主ではないため、意識が薄い。巡回や指導をこまめに欲しい。
	男性	里町小学校の横の猿渡川北側地区は昔から増水すると洪水に直面してきたそうです。私たちは南側ですから一応安心していますが、何度も事例が過去からあるのであれば、対策を切に望みます。
	女性	大雨の被害が各地でおきているこの頃、もっと市民に雨水貯留槽や浸透マスの効果を伝えることも大切ではないでしょうか。我家もまだ設置はしていませんが、以前から検討はしています。
	男性	過去の災害情報を参考にして対策を立てて欲しい
	女性	災害がおきてしまってから想定外の事由がおきましたと言い訳をする前に、想定外を想定内とするプロジェクトを推進することを願うものです。
	女性	実家が浸ったことがあり大変でした。頑張ってください。
	女性	過去に異常は無いが、屋根などの管理に気を付けている。
	男性	①浸透マスの設置であるが、住宅建設時に排水マスがヒビ割れておりそこから地盤沈下がおきた（自宅）ので安易に進めるのはどうかと思う。 ②自主防災組織の強化とあるが、地域のニーズが多様化しており、まとめる事は不可能（個人情報が収集出来ない）。
男性	記録的、大雨等の経験がない為、来たら内水氾濫が心配です。	
女性	対策を行政の方にばかり頼っていて申し訳なく思います。資料を読ませていただいて、多くの対策がなされている事に、気付きました。ありがとうございます。ただ雨水貯留槽や浸透マスは、費用や手間や維持を考えるとちょっと手が出ません。	
男性	市行政が、防災組織（地域）に求めるものが良くわからない。	

年代	性別	回答
70代 以上	男性	大雨が降る度に洪水を心配します。避難情報はなるべく早く流してほしい。高齢な人にネットなどパソコンでの連絡は無理です。
	女性	大雨がふれば風も吹く事だし物が飛んで来たりするから、その時に事故があれば市も負担してほしい。
	男性	通路と車道の所に植えてある木の葉が、U字溝と□ますの中に入ってしまう葉の大きな木はだめです。
	女性	近くに調整池があります。近頃のような大雨が降ると、どれくらい持ちこたえられるのか気になります。
	女性	警報、避難勧告等が発令された場合避難場所は、現在足りてますか？テレビ等で何万に勧告という事がありますが、そういう場合どこへと思います。
	女性	雨水や効率良く地中にしみ込ませる施設で、浸透管や浸透マスなどを取り付けてみたいです
	女性	地盤の液状化、予防策はありますか。地下水道管、排水管のインフラ整備、点検チェック規定は？
	男性	自然におこりうる大雨に対する防災施策はいろんな角度から考え、議論することがいつも大切だと思います。“市民と行政及び専門家”などの考え合う場の設置が必要と信じます。
	女性	用水の掃除、泥上げ、草刈等年に1~2回やっていますが近くに用水で、誰も掃除も土上げ等やらない所があるので地域で全ての所を住民でやるように義務づけをしないと、大雨の時詰まったり溢れたり泥が底に溜まって流れなくなるとして心配です。
	男性	○各町内の排水路の詰り点検整備 ○矢作川の水が安城側にあふれた場合の市内の水の流れシュミレーション点検
	女性	名鉄新安城駅北口を出ると国道1号線の方が高くなっているの、東栄1町目のあたりが雨水で歩きにくい。大雨の時見て下さい!!
	男性	高層住宅では、水の心配はない。南側に小川が流れているが堤の中まで増水する。この辺は低地だが駐車場に浸水した事はない。突風による高压鉄塔の落下がこわい。
	女性	水田をうめたてて工場がたくさんできていますがアンケートに対して反比例ですね市政はなにを考えているのかなこのアンケートは時代遅れです。
	女性	各戸で雨水貯留槽を設置した庭・畑に利用するように心がけ、水道水の節水につなげればと思います。
	女性	各戸（個人宅）、各施設への、雨水浸透可能な整備の推進及び働きかけをする。大雨が予想される予報が出た段階での水田の排水によって、水田貯留の機能を高める。
	男性	大規模水害時使用不可になる（北部公民館、里町小学校、北部小学校、東山中学校）市営東大道住宅（標高20m）自宅（標高21m）です。避難所の安全が確認できれば。避難する液状化の危険あり。
	男性	枯葉、枯草、折れた枝等が排水路にかなり溜まっています。排水の妨げになっています。特に工場周辺の清掃を工場主はしません。清掃をするよう、促して下さい。
	男性	工場関係の駐車場等の雨水が農業用水路へ流れるため、関係水路の整備をお願いしたい。
	女性	安城市の現在地に50年近く居住しているが、今まで大雨の被害に合った事が無いので特に要望は無いが、割と災害が少ない暮らし易い所だと思担当の方々に感謝しております。
	男性	当地には以前は田又は低地であった所に、大規模な住宅地が造成され既に150戸に近い家があり、集中豪雨時には、漏れが心配されるので、漏れが心配される状況が予想される時は、早めの広報等でもPRや避難を実施してもらいたい。
女性	高齢者の1人暮らしの場合、非常時の連絡はどの様にお考えでしょうか。スマホ、パソコン、インターネット等使用してない人にどの様に知らせるかお聞かせ下さい。	
男性	油ヶ淵・鹿乗川・矢作川など外洋に注ぐ大河川につながる、下水河川（長田川・半場川など）とそれに至る排水路の改修および堆積した土砂の除去が重要と思います。	
男性	大雨時JR下、道路通行良否情報充実。	
男性	日々の災害対策をご検討頂き誠にありがとうございます。今後も少しでも改良前進して頂きますよう宜敷くお願い致します。	
女性	大雨の場合、家の中にいて身動きがとれないとき、どうしたらいいか、分かるようにしてほしい。いざというときの情報が早くわかる様にしてほしい。	

年代	性別	回答
70代 以上	男性	決められたことを着実に実行して下さい。
	女性	大雨にあったことが無いので想像が出さない
	男性	地域による防災の取組み（継続的な）。
	男性	雨水貯留槽を設置したいが価格が高く年金生活ではとても無理。現在ポリタンク（90ℓ）×2で対応しているが、老朽化が進み割れて来ているので、早急に取り替えたい。畑の為に、是非安く提供してほしい。高くて手が出ない
	男性	農排水の掃除を。草、土、がそのまま道が狭くなっている、片ずけてほしい。草が道に捨てられている。
	女性	大雨、台風など1人暮らしは心細く、こわく、心配です。避難所を知たいです。
	男性	古井町に住んでいる者です。私の近くに用水路があり大雨が降るとその都度大水が流れそこに橋が掛かっているそれを乗り越えて通行不能になります（原因は鹿乗川へ流れる途中の川が狭く成っていて水はけが悪く成ってるとの事）。この状態がもう何年も続いています。川面にセンサーを設備して役所に警報を送っているようですが何の対策に成ってるのか理解できません。こんな状態をいつ迄続けるつもりなのか大事に至らない内に効果の有る方法で早く解決して下さい。今の状態がいつまで続くのか心配で雨が降るたびひやひやですよ。
	男性	大雨対策についての知識はそれほどない。アパート3階なので私としては、安全と地震の方がこわい（津波など）。
	女性	私の個人的希望ですが、大洪水がおきた時現在住んでる所で安全確保出来る高台があるのか心配しています。民間と共有しあい高い建物が利用できる様非常事態に備えてほしいです。例えば桜井町でしたらアピタの駐車場を特別に解放するとか…買い物に行く度にそう思います。
	女性	石橋団地のまん中を流れている雨水とか田んぼの水が流れていますが、ふたをあけて掃除された事はありません。予想害の大雨が降った時の事を考えてほしいです。
	男性	アンダーパスの俊敏な通行止め。
	男性	①について、場所、古井新町南側河川について、市では何か対策を考えておられますか。
	男性	防災ラジオ等の有効活用の検討をしてみたいか？（月1回の緊急訓練放送だけではもったいない）
	男性	公共施設の調整池は随分進んでいる感があるが、地下道での排水等を考える時は不安を感じる。
	男性	・防災ラジオの活用 ・透水性舗装がしてあったのに、補修の為にその上を普通の舗装がしてあった（雨の時の反射から判断）。…篠目町地内交差点。→もしそうなら壮大な無駄遣い！
	男性	追田汚水上流部に雨水貯留施設が設置されているのを見る機会があり、当局の周知な対策に感心した。市の取組み①～⑦のうち、②、⑤、⑦に力点を置いてほしい。
	男性	防災（大雨）が大切に思われるが、安城市に長く住んでいるが良くわからないです。
	女性	昼間一人で居る時に今は車に乗っていますが、車に乗る事が出来なくなると移動のことが心配です。わが家のあたりは比較的高い所です。お隣を頼りにしています。
	男性	排水路に草がしげっている
	女性	緑地・水田の保全、新たな緑化の推進を推し進めて欲しい。特に、安城北部地域は水田が減ってしまったので。透水性舗装をいただければ、夏の猛暑対策にもなり、大変ありがたい。
	男性	私の所は高台の為、余り孝た事がない。
	女性	鉄道の下道路が冠水する可能性があるのか心配。車で通る時。
	女性	矢作川の中の樹木が、かなり大きくなっているので大雨の時水の流れが悪い様に思われる為、少しずつでも伐採していくのが良いと思われます。
男性	矢作川上流矢作地区の土堤道路が狭く豪雨後の水流で決壊した時、安城市東側区域は水浸しになる心配が大きい。鹿乗川の整備を早く進めるよう努力していただきたい。	
男性	大雨時に過去矢作川堤防の上限1m位まで水がせまった状態を見て、もしこの堤防が決壊したらどうなるだろうかと考えた事があります。今迄決壊した事例は聞いたことはないけれど今後も発生しないという保証はなし、議論を行い、その場合の被害の規模を想定し対策を立案する必要性はないか。	

年代	性別	回答
70代 以上	男性	1.学校区単位の洪水ハザードマップを早い時期に作成してもらいたい。※今のマップでは確認が困難である。 2.消防団桜井北分団の結所を移転改築の考えは？※マップでは、深水区域の中で機能して活動ができるのか 3.消防団OBを地域自主防災令（組織）の主要のメンバーとして位置づける。※実働部隊として活動が大いに期待できる。
	男性	自然災害を防災するのは自主的に行動する事が一番大切であり、行政ばかりにたよったりしていたらダメだと思います。
	男性	排水路の維持管理は特にお願したい。
	男性	◦問7で私見をお願いします。 ◦問8、9、10に関して、当団地では対応を考えられると思う。具体的に教宣してほしい。
	未記入	今までのところ、あまり被害はないが築、35年なので、心配はある。独居でもある。
	女性	大雨時の学生の通学路の再確認を、現役の学生に聞いてみて欲しいです。毎日通学している子供目線の方が大人より気付くことがあるかもしれません。
	男性	①平成27年に二本木小学校グラウンド地下に設置された雨水調整池が、平成28年8月18日の集中豪時に、大いに効果を発揮したと承知しています。その上で、安城市内全体の小・中学校グラウンド地下に、雨水調整池がどの程度設置されているものか分かりませんが、必要性をご検討いただければと思います。 ②また、昭林公民館駐車場地下にも雨水調整池が設置されていると思いましたが、駐車場の地下にも設置できるのであれば、市内の公的機関駐車場で、緊急度の高いところから、雨水調整池の設置をご検討いただければと思います。 ③二本木公民館西側やエディオン西側に設置されている雨水調整池が、安城市内にどの程度設置されているものか分かりませんが、貯留量が大きいだけに、こうした雨水調整池の拡充をご検討いただければと思います。
	男性	堀内川の近くに住んでいるんですが、大雨が降ると何時も心配しています。大丈夫でしょうか？
	男性	雨水貯留槽の補助金等については、町内会回覧の方が周知されやすいと思います。
	男性	避難所が遠すぎる。高齢者にはきつい。
男性	私は西鹿乗川沿線近くの住民の1人です。早急に西鹿川の整備をお願いします。特に直ぐに実施していただきたい。東は高木町半崎に川留めのせきが今も取付られています。西鹿川は川巾が狭いため大雨が降ると上流の住宅及び田は水没します、大至急取っして下さい。又、県道下川巾の拡大をお願いします。	